

第5次草津市総合計画策定
に向けての市民意識調査
調査結果報告書

平成20年11月

草津市

目次

1.調査概要	1
(1)調査の目的.....	1
(2)調査対象者.....	1
(3)調査の方法.....	1
(4)回収の状況.....	1
2.調査結果の概要	2
(1)回答者属性	2
(2)市の施策やまちの住み心地.....	3
① 「くさつ 2010 ビジョン」に基づく取り組みの満足度	
② 住み心地の評価	
③ 草津市において自慢できること	
④ 今後の定住意向	
(3)将来の都市像について.....	6
① 都市像	
② 都市像を表すキーワード	
(4)施策の取り組みの方向性.....	7
① 今後重点的に取り組むべき分野	
(5)協働のまちづくりについて.....	8
① 市民と行政による協働のまちづくりの取り組み状況	
② 市民と行政による協働のまちづくりの取り組みとして重要なこと	
③ 協働のまちづくりにおいて市民が中心とならなければならないこと・できること	

(6)まちづくりや市政との関わり..... 9

- ① 地域活動について
- ② 地域づくりの活性化に必要なこと

(7)今後の草津市のまちづくりについて..... 11

- ① 「不足」または「あれば便利な」施設
- ② 見直しが必要な既存施設・事業

3.調査結果

12

(1)回答者属性 12

- ① 性別
- ② 年齢
- ③ 職業
- ④ 世帯の構成
- ⑤ 居住歴
- ⑥ 居住地域（小学校区）

(2)市の施策やまちの住み心地..... 16

- ① 「くさつ 2010 ビジョン」に基づく取り組みの満足
- ② 住み心地について
- ③ 草津市において自慢できること
- ④ 今後の定住意向

(3)将来の都市像について..... 23

- ① 現在の都市像
- ② 将来の望ましい都市像
- ③ 将来の都市像を表すキーワード

(4)施策の取り組みの方向性..... 28

- ① 今後重点的に取り組むべき分野
- ② 人口予測を踏まえたまちづくりの方向性

- ③ 大学を活かしたまちづくり
- ④ 旧草津川廃川敷地の今後の利活用

(5) 協働のまちづくりについて.....32

- ① 市民と行政による協働のまちづくりの取り組み状況
- ② 市民と行政による協働のまちづくりの取り組みとして重要なこと
- ③ 協働のまちづくりにおいて市民が中心となって行うべきこと・できること

(6) まちづくりや市政との関わり.....36

- ① 地域活動について
- ② 地域づくりの活性化に必要なこと
- ③ 市民の意見を市政へ反映するために不足している取り組み

(7) 今後の草津市のまちづくりについて.....42

- ① 「不足」または「あれば便利な」施設
- ② 見直しが必要な既存施設・事業
- ③ 協働のまちづくりについてのアイデア・意見

1.調査概要

(1)調査の目的

この調査は、第4次草津市総合計画期間終了を控え、その改定に向け市民が日頃の生活の中で感じていることや、これからの草津市のまちづくりへのアイデア、市政に対する率直な意見等を的確に把握し、第5次草津市総合計画策定に向けての基礎資料とするために実施した。

(2)調査対象者

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳及び外国人登録原票から、年齢、居住地域の2段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日： 2008年8月1日

(3)調査の方法

調査は無記名とし、平成20年9月5日(金)～9月16日(火)を調査期間として、郵送により実施した。

(4)回収の状況

有効回答数 1,013 件、有効回答率 33.8%を得た。

調査結果の表記について：百分率については、それぞれの調査の有効回答数(N)、あるいは当該設問の回答者数(n)を基数として算出している。小数点第2位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも100.0%にならない。また、グラフまたは表内に示した記号のうち、SAは単数回答、MAは複数回答を示す。

2.調査結果の概要

(1)回答者属性

- ・ 年齢は「55-64歳」が19.2%と最も多く、次いで「25-34歳」が17.1%、「35-44歳」が14.9%などとなっている。
- ・ 職業は、「民間企業、団体の役員・職員」が28.8%と最も多く、次いで「無職」が22.7%、「専業主婦（夫）、家事手伝い」が17.3%などとなっている。
- ・ 世帯構成は、「夫婦、子どもからなる世帯」が38.2%と最も多く、次いで「夫婦、親、子どもからなる世帯」が14.8%などとなっている。
- ・ 単身、夫婦のみ世帯を除く世帯のうち、18歳未満の子どもがいる世帯は26.7%、また、65歳以上の高齢者がいる世帯は37.0%となっている。
- ・ 居住歴は、「生まれてからずっと住んでいる」が23.7%、「転入して10年以上」が43.9%、「転入して9年以下」が28.9%となっている。
- ・ まとまった開発住宅地へ、一定期間に集中して子育てファミリー層が転入してきている本市の状況を踏まえて、この居住歴3区分についてクロス集計分析を行った。
- ・ 結果は次の通りであり、世帯構成や居住地に係る特性を色濃く反映した区分として、さらなる分析に活用することとした。

【居住歴3区分でみる回答者属性】

生まれてからずっと

- ・ 年齢は「55-64歳」が最も多く19.2%、次いで「65-74歳」が18.8%、「75歳以上」が15.8%となっている。
- ・ 世帯構成は「夫婦、子どもからなる世帯」が最も多く37.5%、次いで「夫婦、親、子どもからなる世帯」が多く26.7%となっている。また、65歳以上の高齢者と同居している世帯は全体の30.8%となっている。
- ・ 小学校区は「笠縫小学校区」「老上小学校区」が最も多く15.4%、次いで「山田小学校区」が13.8%、「常盤小学校区」が12.5%となっている。

転入して9年以下

- ・ 年齢は「25-34歳」が最も多く39.9%、次いで「35-44歳」が27.3%などとなっている。
- ・ 世帯構成は「夫婦、子どもからなる世帯」が最も多く42.3%となっている。次いで「夫婦のみ世帯（高齢夫婦以外）」が20.8%、「単身世帯」が17.1%などとなっている。また、18歳未満の子どもがいる子育て世帯は全体の38.9%となっている。
- ・ 小学校区は「玉川小学校区」が最も多く19.1%、次いで「草津小学校区」「草津第二小学校区」が10.6%となっている。

転入して10年以上

- ・ 年齢は「55-64歳」が最も多く26.5%、次いで「65-74歳」が23.4%、「45-54歳」が16.4%などとなっている。
- ・ 世帯構成は「夫婦、子どもからなる世帯」が最も多く38.0%、次いで「高齢夫婦」が22.9%などとなっている。
- ・ 小学校区は「笠縫東小学校区」が最も多く11.7%、次いで「笠縫小学校区」が11.2%、「矢倉小学校区」が9.4%、「老上小学校区」が9.2%などとなっている。

(2)市の施策やまちの住み心地

①「くさつ2010ビジョン」に基づく取り組みの満足度

- ・ 「ごみの適正処理と環境美化の取り組み」について市民からの満足度評価が高くなっているほか、「人権教育のほか、人権についての知識普及と意識啓発の取り組み」「学校と家庭・地域社会による地域協働合校での取り組み」「文化財の保存・継承と、文化財を活かしたまちづくりや歴史学習の取り組み」といった人権・文化に関する項目についても評価が高くなっている。
- ・ 一方、「安全で歩きやすい道路の整備」「幹線道路やバス・鉄道などの交通体系全体の利用しやすさ」といった都市基盤に関連する項目で満足度の評価が低くなっているほか、「商業の活性化と魅力ある商店街の形成」「観光資源の充実と観光産業の振興」といった産業に関連する項目についても評価が低くなっている。

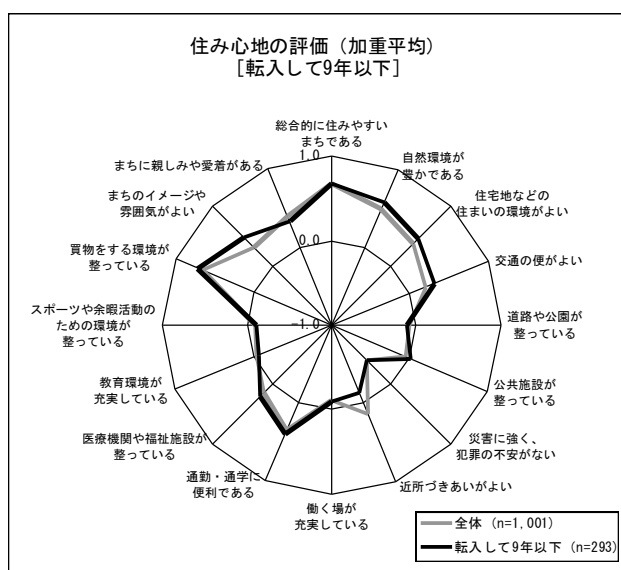
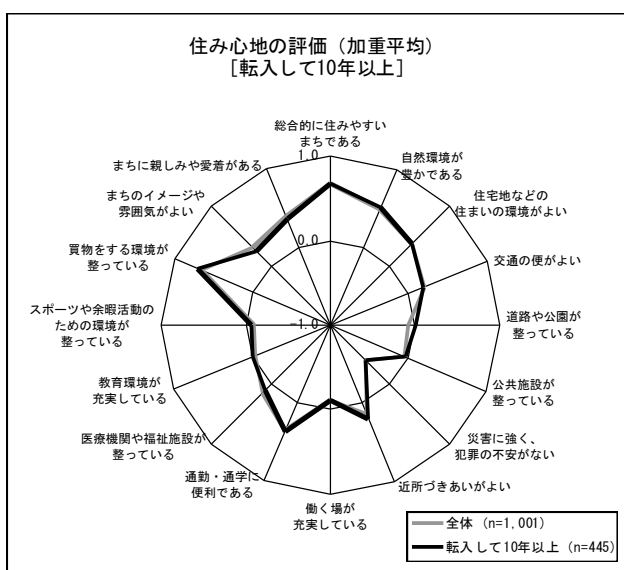
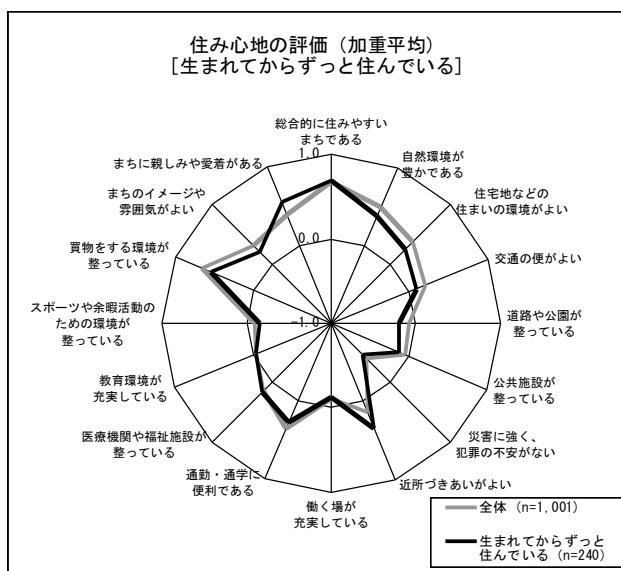
■施策の満足度評価 (N=987)

	第1位	第2位	第3位
満足度高い (加重平均 上位)	ごみの適正処理と環境美化の取り組み 0.35	人権教育のほか、人権についての知識普及と意識啓発の取り組み 0.28	下水道の整備と適切な維持管理 0.28
満足度低い (加重平均 下位)	安全で歩きやすい道路の整備 -0.36	商業の活性化と魅力ある商店街の形成 -0.29	幹線道路やバス・鉄道などの交通体系全体の利用しやすさ -0.27

※ 加重平均は、「満足」=2、「やや満足」=1、「どちらとも言えない」=0、「やや不満」=-1、「不満」=-2の評点を与え、(評価ごとの回答者数)×(評点)の総和を、当該設問の回答者数で除して求めている。

② 住み心地の評価

- 「買物をする環境が整っている」や「通勤・通学に便利である」といった生活の利便性に関連する項目について評価が高くなっているほか、「自然環境が豊かである」や「住宅地などの住まいの環境がよい」といった周辺の自然環境や身近な住宅環境に関する項目について評価が高くなっている。
- 一方、「災害に強く、犯罪の不安がない」について特に評価が低くなっており、係る市民の不安が大きいことがうかがえる。そのほか、「働く場が充実している」や「スポーツや余暇活動のための環境が整っている」「道路や公園が整っている」「公共施設が整っている」などの項目について評価が低くなっている。
- 居住歴3区別にみると、居住歴が浅いほどに「まちに親しみや愛着がある」「近所づきあいがよい」など、地域・コミュニティとのつながりの評価が低く、まちのイメージや環境についての評価が高い傾向がある。



※ 加重平均は、「満足」=2、「やや満足」=1、「どちらとも言えない」=0、「やや不満」=-1、「不満」=-2の評点を与え、(評価ごとの回答者数) × (評点) の総和を、当該設問の回答者数で除して求めている。

③ 草津市において自慢できること

- ・「生活のしやすさや利便性」が第1位、「自然の豊かさや風景の美しさ」が第2位となっているが、第3位に「特に自慢できるものがない」となっている。

■草津市において自慢できること (n=989)

第1位	第2位	第3位
生活のしやすさや利便性	自然の豊かさや風景の美しさ	特に自慢できるものはない
56.6%	35.1%	21.2%

④ 今後の定住意向

- ・「できれば住み続けたい」が40.4%と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が31.2%となっており、これらを合わせると71.6%となっている。
- ・一方、「できれば住み続けたくない」「住み続けたくない」は合わせて4.5%にとどまっている。
- ・居住歴3区分別にみると、「生まれてからずっと住んでいる」「転入して10年以上」「転入して9年以下」の順に「ずっと住み続けたい」の比率が大きくなっている。

■今後の定住意向

	全体 (N=1,013)	居住歴		
		生まれてからずっと (n=240)	転入して10年以上 (n=445)	転入して9年以下 (n=293)
ずっと住み続けたい	31.2%	50.4%	31.7%	14.7%
できれば住み続けたい	40.4%	28.8%	41.6%	48.1%
どちらとも言えない	22.4%	16.7%	20.9%	29.4%
できれば住み続けたくない	3.1%	2.9%	2.0%	5.1%
住み続けたくない	1.4%	0.4%	1.8%	1.7%

※全体には居住歴の不明・無回答35件を含む。

(3) 将来の都市像について

① 都市像

(現在の都市像)

- 「身近で買物ができる生活サービスが便利なまち」が 38.7%と最も多く、次いで「大型店や専門店が数多く立地したまち」が 27.6%などとなっており、買物の利便性について評価が高くなっている。

(将来の都市像)

- 加重平均により上位5位をみると、「市民の生活を重視する福祉・保健・医療が充実した安心できるまち」が第1位、次いで「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」「高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち」となどとなっている。
- 居住歴3区分別にみると、「生まれてからずっと」「転入して10年以上」と「転入して9年以下」で第2位、第3位が「高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち」「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」の順位が入れ替わっている。
- また、「生まれてからずっと」で「都市と田園が調和した快適なまち」が、「転入して10年以上」「転入して9年以下」で「充実した教育環境のもとで豊かな人間性が培われ、人材が育つまち」が上位の項目となっている。

■将来の望ましい都市像（加重平均上位）

	全体 (N=1,013)	居住歴		
		生まれてからずっと (n=240)	転入して10年以上 (n=438)	転入して9年以下 (n=291)
第1位	市民の生活を重視する福祉・保健・医療が充実した安心できるまち 4.9	市民の生活を重視する福祉・保健・医療が充実した安心できるまち 4.5	市民の生活を重視する福祉・保健・医療が充実した安心できるまち 5.0	市民の生活を重視する福祉・保健・医療が充実した安心できるまち 4.9
第2位	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 3.5	高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち 4.0	高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち 3.8	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 4.0
第3位	高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち 3.5	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 3.9	災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち 3.0	高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち 2.5
第4位	身近で買物ができる生活サービスが便利なまち 2.0	都市と田園が調和した快適なまち 2.0	充実した教育環境のもとで豊かな人間性が培われ、人材が育つまち 1.9	身近で買物ができる生活サービスが便利なまち 2.1
第5位	都市と田園が調和した快適なまち 1.8	身近で買物ができる生活サービスが便利なまち 1.9	身近で買物ができる生活サービスが便利なまち 1.9	充実した教育環境のもとで豊かな人間性が培われ、人材が育つまち 2.0

※全体には居住歴の不明・無回答 35 件を含む。

※ 加重平均は、第1位=10、第2位=9、第3位=8 の評点を与え、(各順位ごとの回答者数) × (評点) の総和を、当該設問の回答者数で除して求めている。

② 都市像を表すキーワード

- 「安心・安全」が第1位、「人にやさしい」が第2位などとなっている。

■都市像を表すキーワード (n=317)

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
安全・安心	人にやさしい	住みよい	自然	活気がある
60件 18.9%	38件 12.0%	36件 11.4%	35件 11.0%	26件 8.2%

※自由記述として得られた回答 317 件をその趣旨・イメージを整理。

(4) 施策の取り組みの方向性

① 今後重点的に取り組むべき分野

- 加重平均により上位3位をみると、「保健、医療、健康管理」が第1位、「高齢者福祉」が第2位、「子どもの福祉・子育て支援」が第3位などとなっている。
- 居住歴3区分別にみると、「生まれてからずっと」で「高齢者福祉」が、「転入して9年以下」で「子どもの福祉・子育て支援」が第1位となっていることが特徴的である。

■今後重点的に取り組むべき分野 (加重平均上位)

	全体 (n=985)	居住歴		
		生まれてからずっと (n=238)	転入して10年以上 (n=424)	転入して9年以下 (n=290)
第1位	保健、医療、健康管理 1.25	高齢者福祉 1.26	保健、医療、健康管理 1.26	子どもの福祉・子育て支援 1.42
第2位	高齢者福祉 1.24	防災・防犯、災害対策 1.20	高齢者福祉 1.23	保健、医療、健康管理 1.30
第3位	子どもの福祉・子育て支援 1.23	保健、医療、健康管理 1.20	学校教育 1.17	学校教育 1.28
第4位	学校教育 1.20	学校教育 1.29	子どもの福祉・子育て支援 1.15	高齢者福祉 1.25
第5位	防災・防犯、災害対策 1.18	子どもの福祉・子育て支援 1.19	防災・防犯、災害対策 1.14	防災・防犯、災害対策 1.22

※全体には居住歴の不明・無回答 33 件を含む。

※ 加重平均は、「そう思う」=2、「ややそう思う」=1、「どちらとも言えない」=0、「あまりそう思わない」=-1、「そう思わない」=-2の評点を与え、(評価ごとの回答者数) × (評点) の総和を、当該設問の回答者数で除して求めている。

(5) 協働のまちづくりについて

① 市民と行政による協働のまちづくりの取り組み状況

- ・ 「そう思う」が 3.5%、「まあそう思う」が 17.2%、合わせて 20.2%が、一定の取り組みができているとしている。
- ・ 一方、「あまりそうは思わない」が 25.4%、「そうは思わない」が 11.5%、合わせて 36.9%が、取り組みが十分ではないとしている。

② 市民と行政による協働のまちづくりの取り組みとして重要なこと

- ・ 「まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会を増やすこと」が最も多く 23.5%、次いで「市民と行政との交流や意見交換の機会をつくること」が 19.3%、「市政情報の公開を充実させること」が 19.2%などとなっている。

③ 協働のまちづくりにおいて市民が中心となって行うべきこと・できること

- ・ 上位 3 位を尋ねた結果について、順位ごとに重みをつけて平均した上位3位をみると、「地域防犯」が第1位、「ごみの減量・リサイクル」が第2位、「地域防災」が第3位となっている。

■協働のまちづくりにおいて市民が中心となって行うべきこと・できること（加重平均上位）

	全体 (n=959)	居住歴		
		生まれてからずっと (n=229)	転入して10年以上 (n=415)	転入して9年以下 (n=285)
第1位	地域防犯 4.7	地域防犯 4.7	ごみの減量・リサイクル 4.4	地域防犯 5.4
第2位	ごみの減量・リサイクル 4.3	地域防災 4.2	地域防犯 4.0	ごみの減量・リサイクル 4.7
第3位	地域防災 3.7	ごみの減量・リサイクル 3.9	地域防災 4.0	子育て支援 3.7

※全体には居住歴の不明・無回答 30 件を含む。

※ 加重平均は、「第1位」=10、「第2位」=9、「第3位」=8 の評点を与え、(各順位の回答者数) × (評点) の総和を、当該設問の回答者数で除して求めている。

(6) まちづくりや市政との関わり

① 地域活動について

(現在の参加状況)

- ・ 現在参加している地域活動をみると、「自治会・町内会活動」が最も多く、30.3%、次いで「スポーツ振興に関する活動」が6.3%、「環境に関する活動」「防災に関する活動」「地域の安全に関する活動」がそれぞれ5.5%となっている。
- ・ 過去に参加した経験がある地域活動をみると、「自治会・町内会活動」が最も多く41.5%、次いで「防災に関する活動」が30.4%、「人権に関する活動」が28.4%、「スポーツ振興に関する活動」が26.1%などとなっている。
- ・ 活動は知っているが、参加したことのない地域活動についてみると、「生涯学習(学校と家庭を除いた教育)に関する活動」が最も多く37.8%、次いで「文化・芸術に関する活動」が34.9%、「スポーツ振興に関する活動」が33.6%などとなっている。
- ・ 活動を知らず、参加の経験もない地域活動についてみると「科学技術の普及や技術者の育成等に関する活動」が最も多く73.5%、次いで「産業振興に関する活動」が71.3%、「雇用促進に関する活動」が69.6%などとなっている。
- ・ 参加経験が多い地域活動である「自治会・町内会活動」「防災に関する活動」「人権に関する活動」について居住歴3区分別にみると、「転入して9年以下」の参加経験が他に比べ少なく、また、「知らないので参加したことはない」が多くなっている。

■ 自治会・町内会活動への参加状況

	全体 (n=960)	居住歴		
		生まれてからずっと (n=226)	転入して10年以上 (n=423)	転入して9年以下 (n=281)
現在参加している	30.3%	40.7%	32.4%	18.9%
参加したことがある	41.5%	43.4%	51.1%	25.6%
知っているが 参加したことはない	16.7%	49.3%	11.8%	29.9%
知らないので 参加したことはない	10.0%	3.5%	3.8%	24.6%

※全体には居住歴の不明・無回答30件を含む。

■防災に関する活動への参加状況

	全体 (n=960)	居住歴		
		生まれてからずっと (n=226)	転入して10年以上 (n=423)	転入して9年以下 (n=281)
現在参加している	5.5%	11.1%	5.2%	1.8%
参加したことがある	30.4%	31.0%	41.4%	12.5%
知っているが 参加したことはない	27.1%	24.8%	29.6%	26.3%
知らないので 参加したことはない	33.3%	27.0%	20.8%	57.7%

※全体には居住歴の不明・無回答 30 件を含む。

■人権に関する活動への参加状況

	全体 (n=960)	居住歴		
		生まれてからずっと (n=226)	転入して10年以上 (n=423)	転入して9年以下 (n=281)
現在参加している	3.3%	7.1%	5.9%	1.8%
参加したことがある	36.7%	29.6%	38.1%	12.1%
知っているが 参加したことはない	16.7%	27.0%	27.0%	24.2%
知らないので 参加したことはない	30.0%	30.1%	24.8%	59.8%

※全体には居住歴の不明・無回答 30 件を含む。

(地域活動への今後の参加意向)

- ・「今後参加したい」についてみると、「自治会・町内会活動」が最も多く 53.8%、次いで「防災に関する活動」が 43.4%、「環境に関する活動」「地域の安全に関する活動」がそれぞれ 42.1%などとなっている。
- ・「参加しない」についてみると、「産業振興に関する活動」が最も多く 26.0%、次いで「雇用促進に関する活動」が 25.6%、「人権に関する活動」が 24.4%などとなっている。
- ・「わからない」についてみると、「産業振興に関する活動」が最も多く 61.5%、次いで「市民活動支援」が 60.0%、「消費者保護に関する活動」が 59.9%などとなっている。

② 地域づくりの活性化に必要なこと

- ・「活動に参加するきっかけづくり」が最も多く 30.9%、次いで「参加しやすいイベントの実施」が 24.3%、「リーダーの育成」が 9.1%などとなっている。

(7) 今後の草津市のまちづくりについて

① 「不足」または「あれば便利な」施設

自由記述として得られた回答 379 件の内容について、類型により整理した。下表はそのうちの上位3位である。件数は延べ数である。

	第1位	第2位	第3位
「不足」または 「あれば便利な施設」 (n=379)	公園・スポーツ施設 122件 32.2%	子育て関連施設 70件 18.5%	医療機関 62件 16.4%

② 見直しが必要な既存施設・事業

自由記述として得られた回答 223 件の内容について、類型により整理した。下表はそのうちの上位3位である。件数は延べ数である。

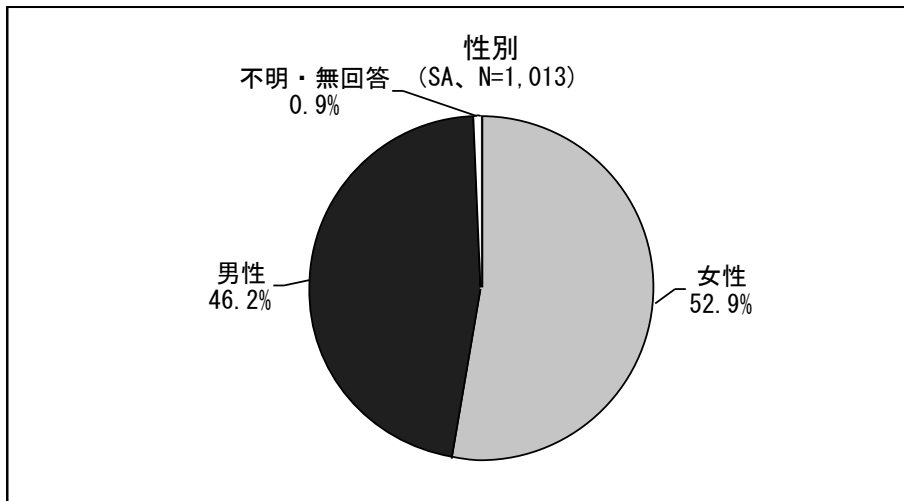
		第1位	第2位	第3位
見直しが 必要 (n=233)	既存施設	道路・交通 30件 12.9%	公園・スポーツ施設 24件 10.3%	公共機関等 21件 9.0%
	事業	役所 37件 15.9%	交通 32件 13.7%	公共工事 19件 8.2%

3.調査結果

(1)回答者属性

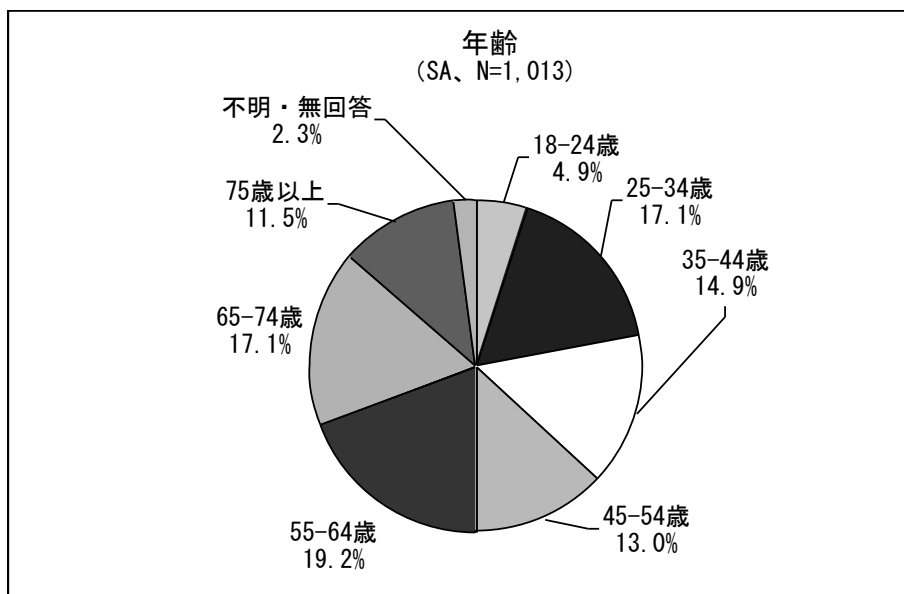
① 性別

「女性」が 52.9%、「男性」が 42.6%となっている。



② 年齢

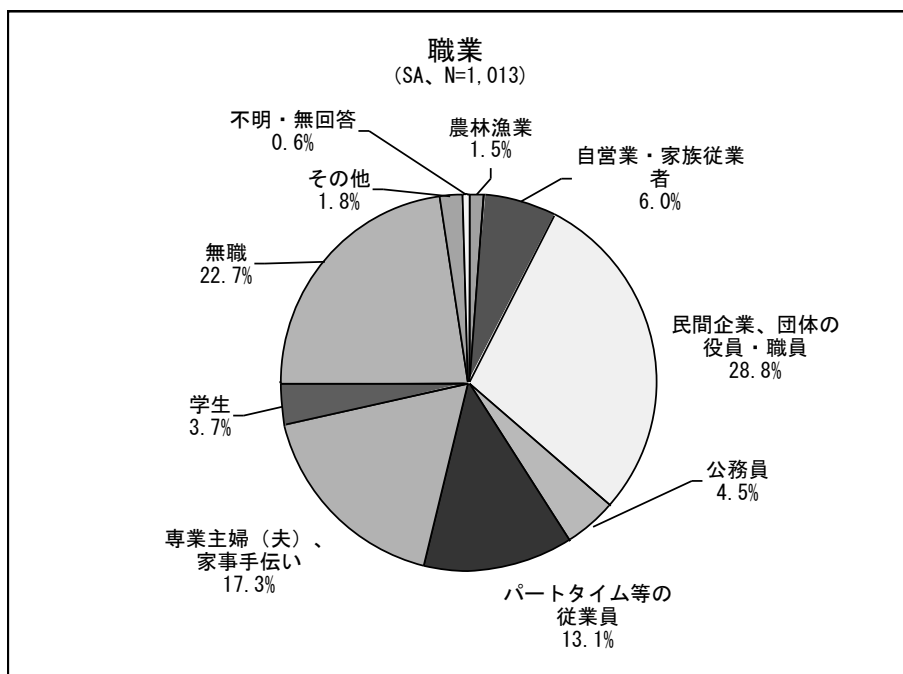
「55-64歳」が 19.2%と最も多く、次いで「25-34歳」が 17.1%、「35-44歳」が 14.9%などとなっている。



③ 職業

「民間企業、団体の役員・職員」が28.8%と最も多く、次いで「無職」が22.7%、「専業主婦(夫)、家事手伝い」が17.3%、「パートタイム等の従業員」が13.1%などとなっている。

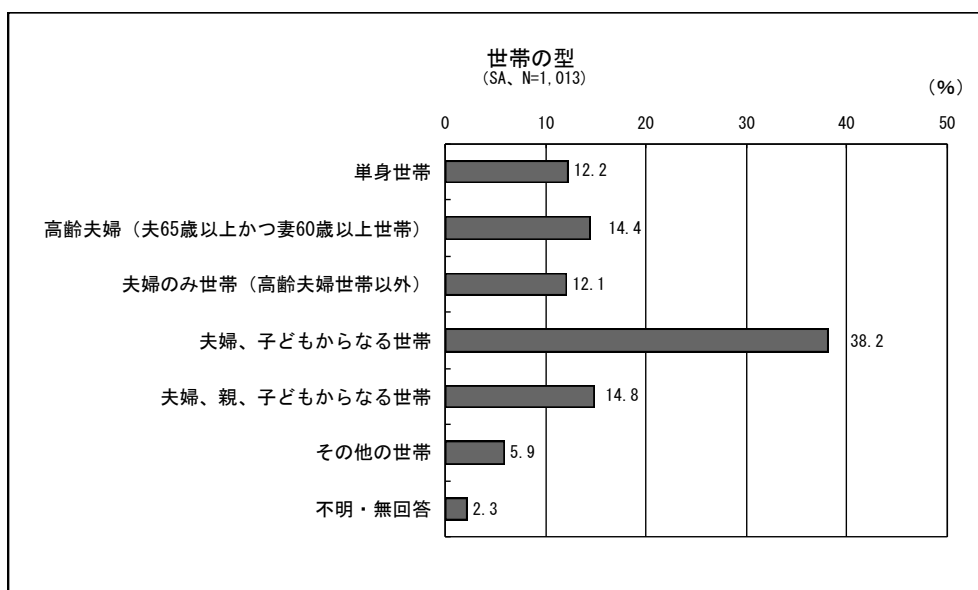
なお、「無職」に定年退職後の人が含まれていることに留意が必要である。



④ 世帯の構成

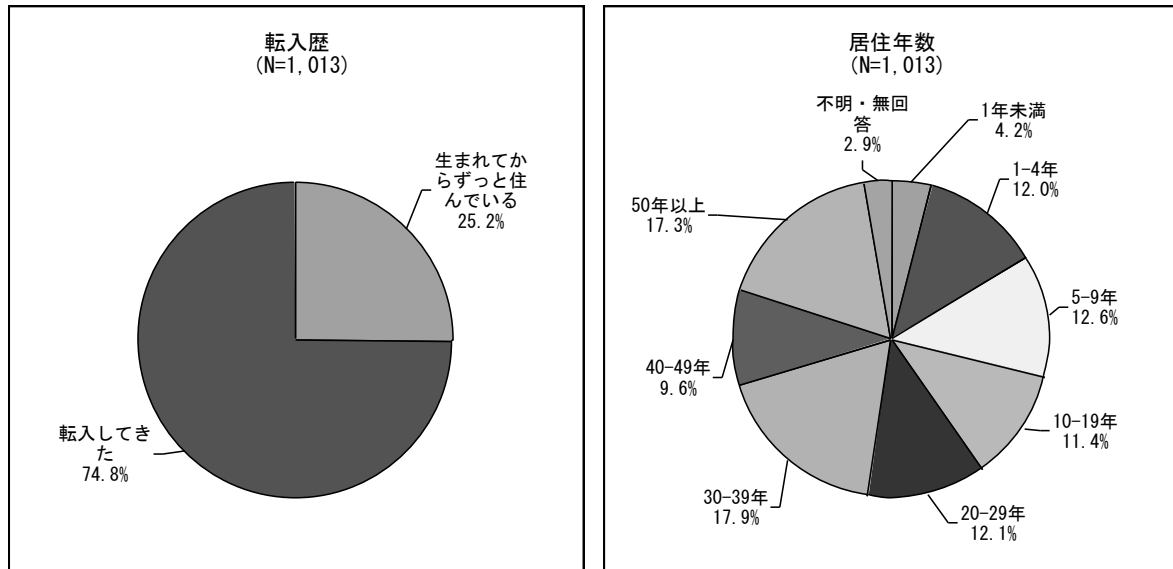
「夫婦、子どもからなる世帯」が38.2%と最も多く、次いで「夫婦、親、子どもからなる世帯」が14.8%、「高齢夫婦」が14.4%、「単身世帯」が12.2%などとなっている。

また、18歳未満の子どもがいる世帯は26.7%、65歳以上の高齢者と同居している世帯は18.5%となっている。

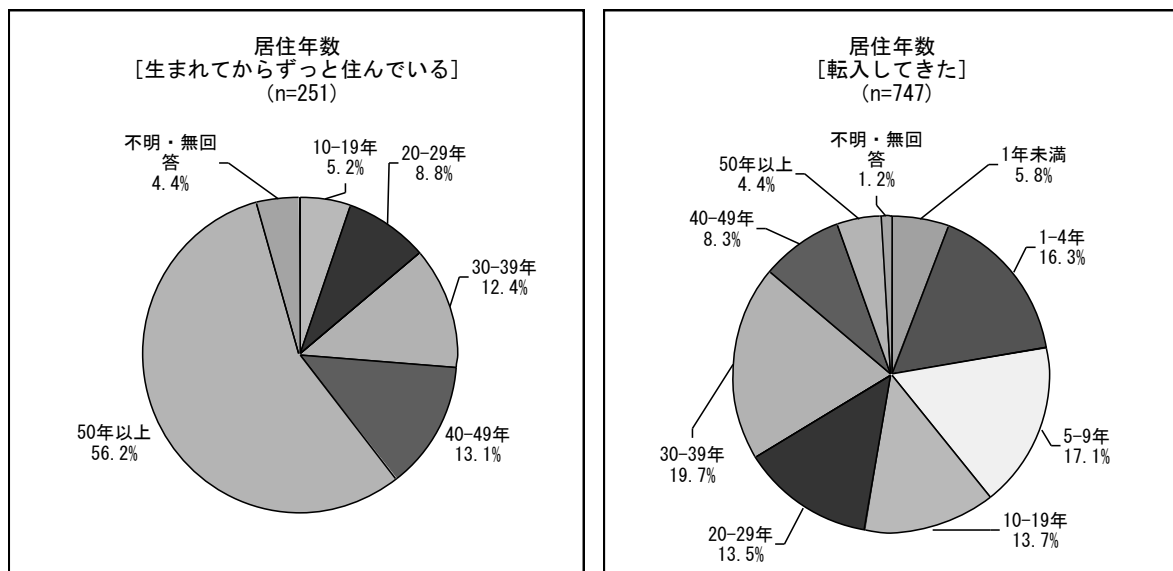


⑤ 居住歴

「転入してきた」が 74.8%、「生まれてからずっと住んでいる」が 25.2%となっており、居住年数は「30-39年」が 17.9%と最も多く、次いで「50年以上」が 17.3%、「5-9年」が 12.6%などとなっている。

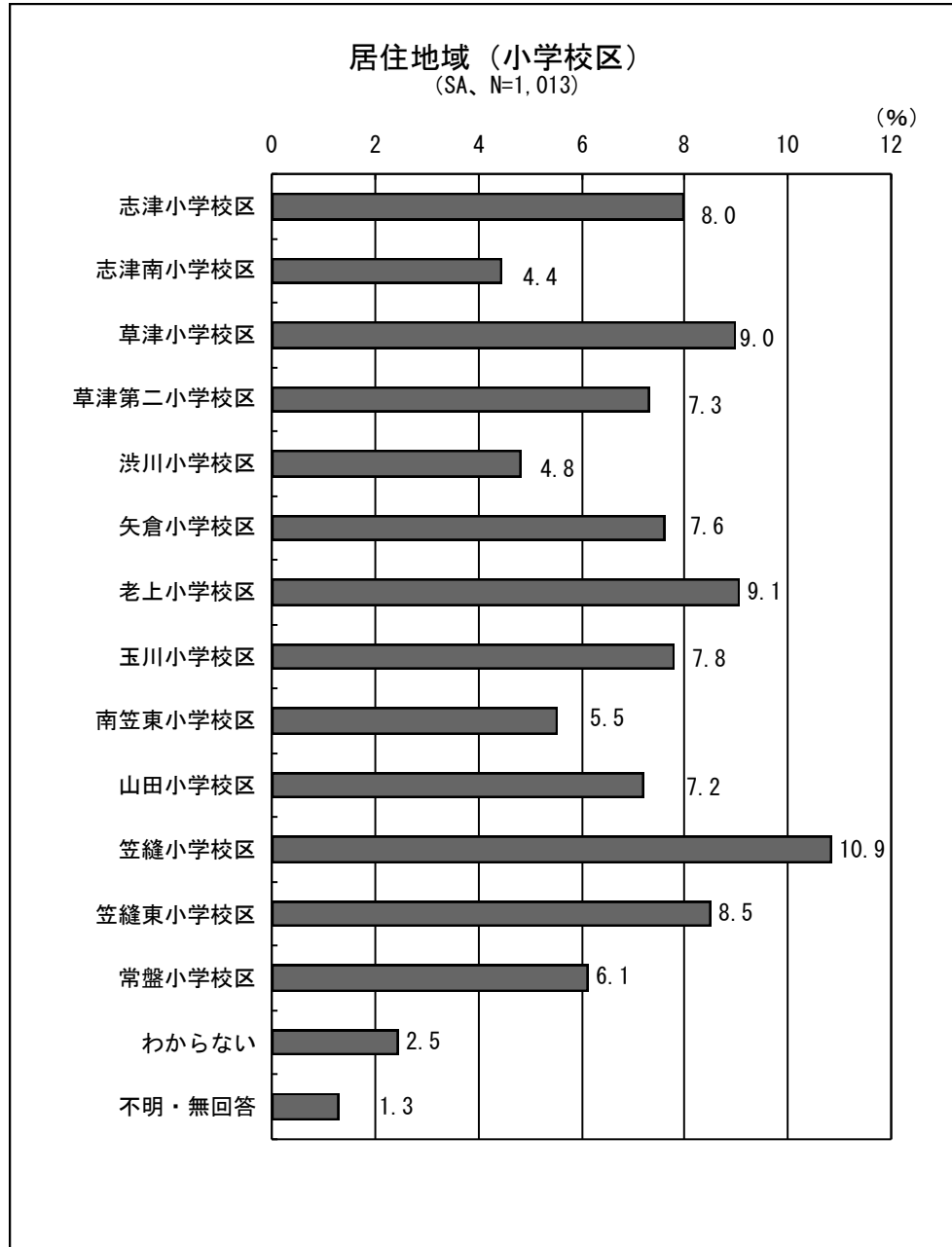


なお、転入歴別に居住年数をみると、「生まれてからずっと住んでいる」では、「50年以上」が 56.2%と最も多く、次いで「40-49年」が 13.1%、「30-39年」が 12.4%などとなっており、「転入してきた」では、「30-39年」が 19.7%と最も多く、次いで「5-9年」が 17.1%、「1-4年」が 16.3%などとなっている。



⑥ 居住地域（小学校区）

「笠縫小学校区」が10.9%と最も多く、次いで「老上小学校区」が9.1%、「草津小学校区」が9.0%などとなっている。



(2) 市の施策やまちの住み心地

① 「くさつ 2010 ビジョン」に基づく取り組みの満足度

「満足」が最も多いのは、「人権教育のほか、人権についての知識普及と意識啓発の取り組み」で 8.9%、次いで「ごみの適正処理と環境美化の取り組み」が 6.6%、「JR 駅周辺等の市街地整備」「おいしい水の安定した供給」「下水道の整備と適切な維持管理」がそれぞれ 5.8%などとなっている。

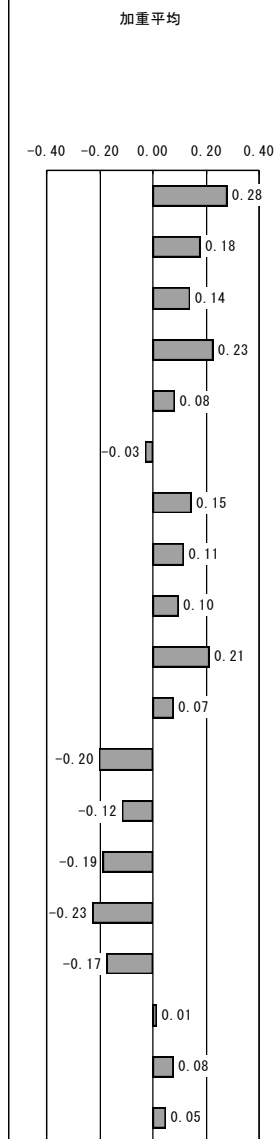
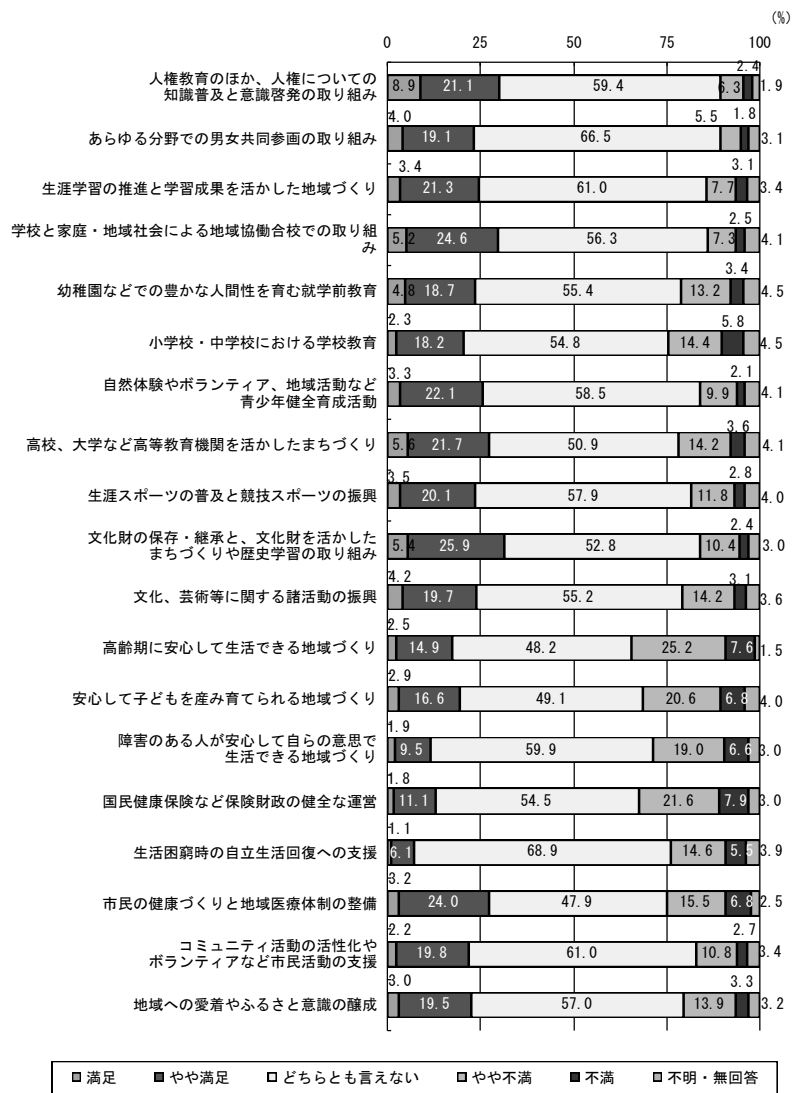
「やや満足」が最も多いのは、「ごみの適正処理と環境美化の取り組み」で 42.1%、次いで「下水道の整備と適切な維持管理」が 32.4%、「JR 駅周辺等の市街地整備」が 31.2%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多いのは、「都市間交流の取り組みと国際理解教育の取り組み」で 74.8%、次いで「漁場の環境保全と漁業経営の安定化」が 74.6%、「生活困窮時の自立生活回復への支援」が 68.9%、「農地の保全と農業経営の安定」が 68.9%などとなっている。

「やや不満」が最も多いのは、「安全で歩きやすい道路の整備」で 33.3%、次いで「幹線道路やバス・鉄道などの交通体系全体の利用しやすさ」が 28.1%、「商業の活性化と魅力ある商店街の形成」が 27.3%などとなっている。

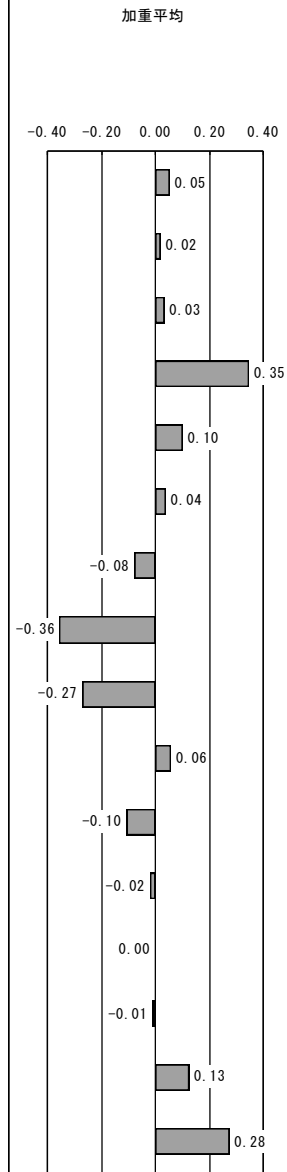
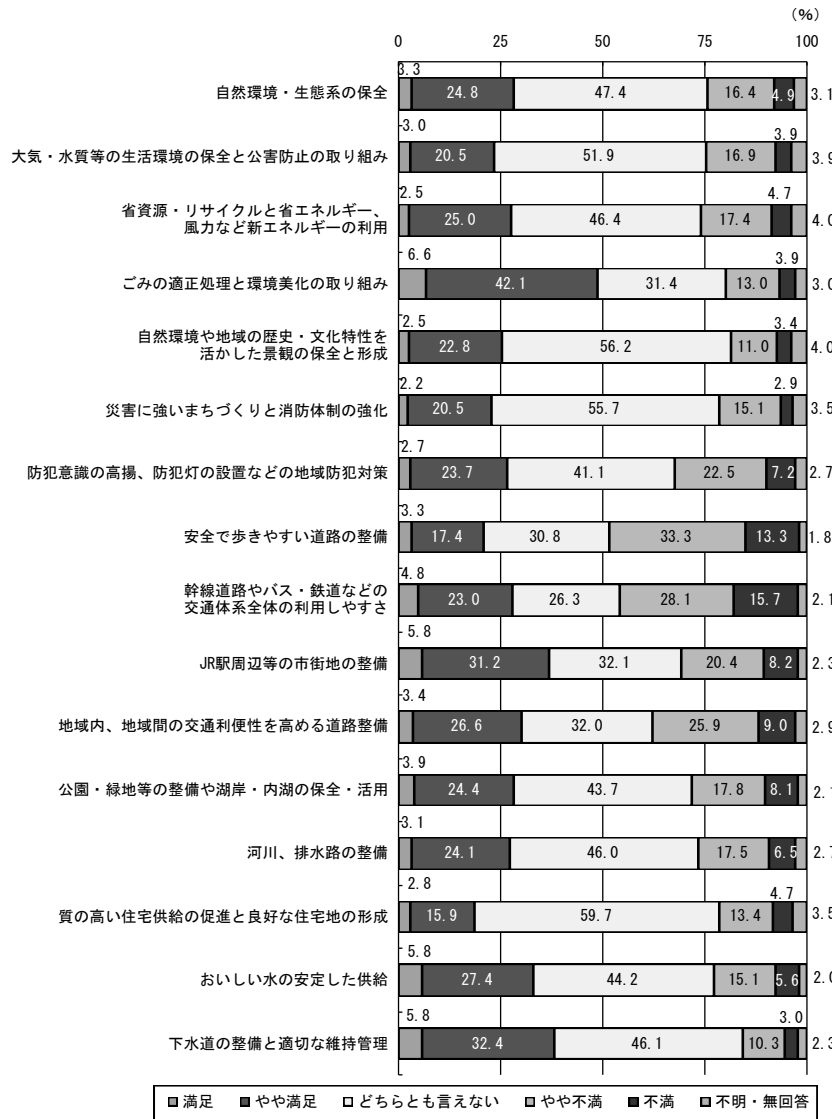
「不満」が最も多いのは、「幹線道路やバス・鉄道などの交通体系全体の利用しやすさ」で 15.7%、次いで「安全で歩きやすい道路の整備」が 13.3%、「地域内、地域間の交通利便性を高める道路整備」が 9.0%などとなっている。

「くさつ2010」ビジョンの取り組みの満足度
(SA、N=987)

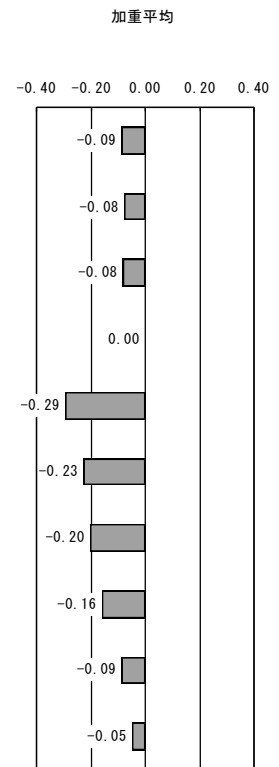
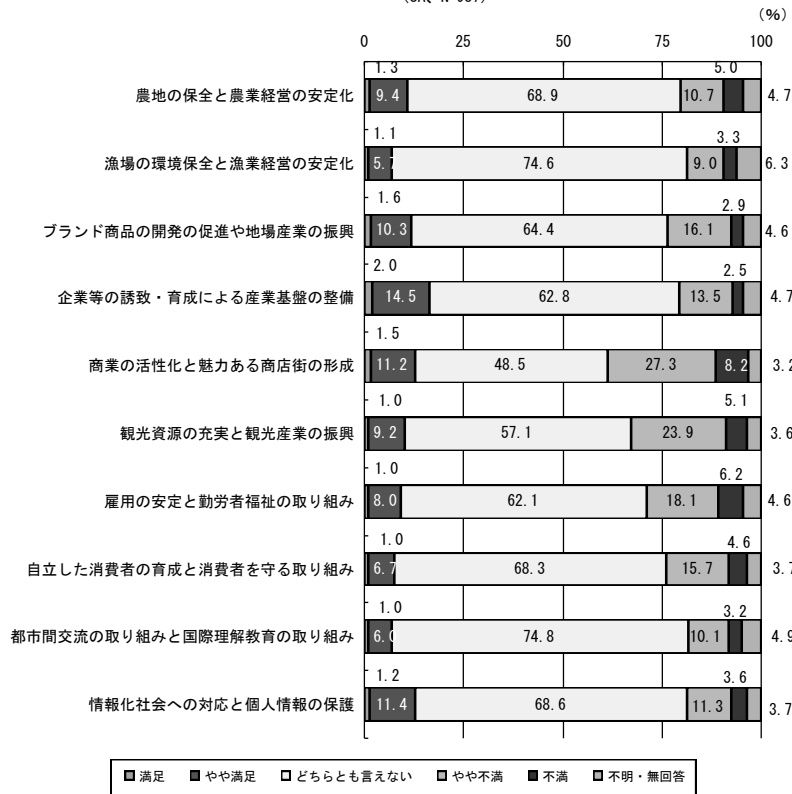


※ 加重平均は、「満足」=2、「やや満足」=1、「どちらとも言えない」=0、「やや不満」=-1、「不満」=-2の評点を与え、(評価ごとの回答者数) × (評点) の総和を、当該設問の回答者数で除して求めている。

「くさつ2010」ビジョンの取り組みの満足度
(SA、N=987)



「くさつ2010」ビジョンの取り組みの満足度
(SA、N=987)



② 住み心地について

住み心地に関するいくつかの項目の肯定的評価について、「そう思う」か「そう思わない」かを5段階で尋ねた。

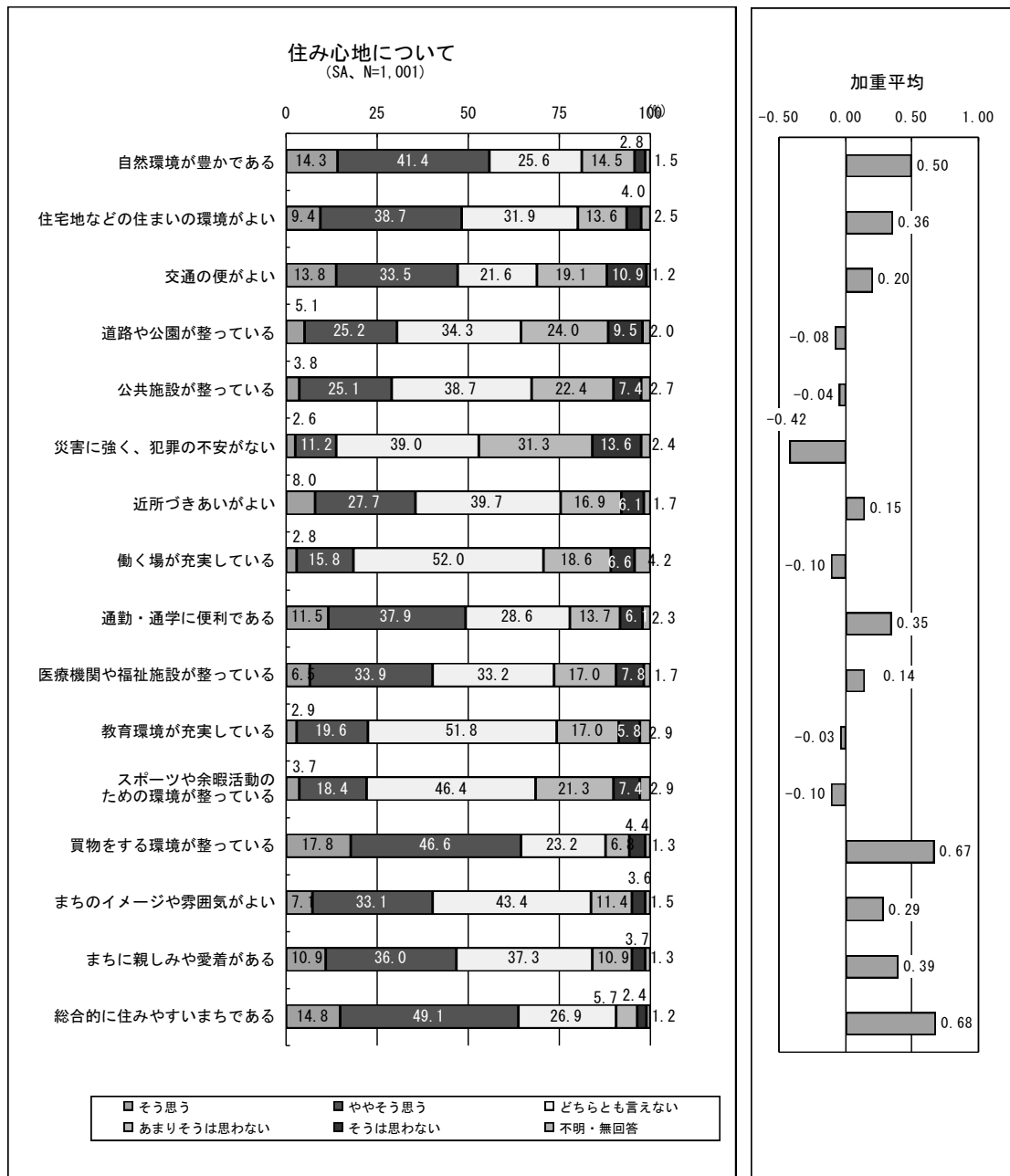
「そう思う」が最も多いのは、「買物をする環境が整っている」で17.8%、次いで「総合的に住みやすいまちである」が14.8%、「自然環境が豊かである」が14.3%などとなっている。

「ややそう思う」が最も多いのは、「総合的に住みやすいまちである」で49.1%、次いで「買物をする環境が整っている」が46.6%、「自然環境が豊かである」が41.4%などとなっている。

「どちらともいえない」が最も多いのは、「働く場が充実している」で52.0%、次いで「教育環境が充実している」が51.8%、「スポーツや余暇活動のための環境が整っている」が46.4%などとなっている。

「あまりそうは思わない」が最も多いのは、「災害に強く、犯罪の不安がない」で31.3%、次いで「道路や公園が整っている」が24.0%、「公共施設が整っている」が22.4%などとなっている。

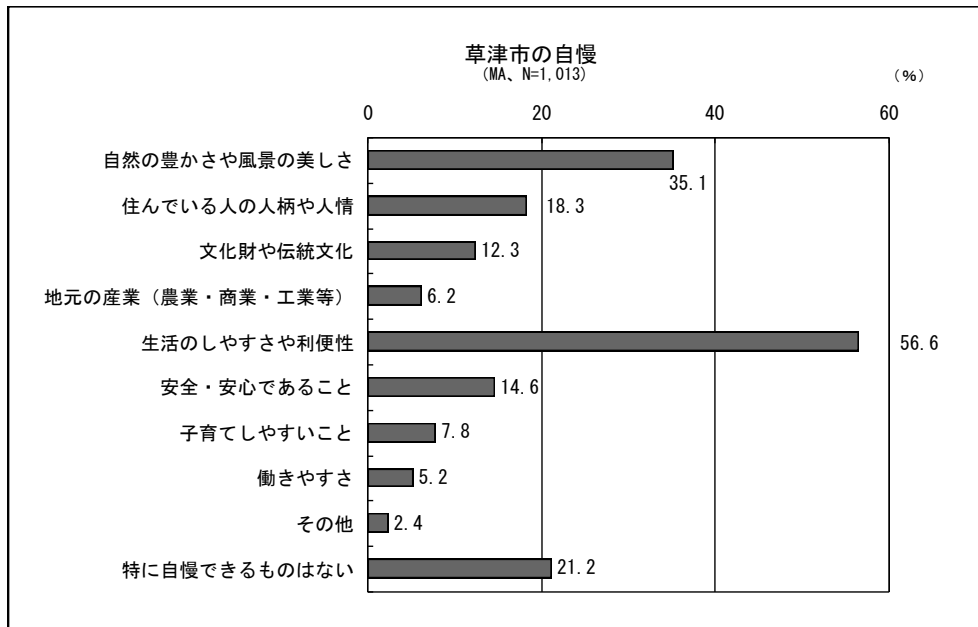
「そうは思わない」が最も多いのは、「災害に強く、犯罪の不安がない」で13.6%、次いで「交通の便がよい」が10.9%、「道路や公園が整っている」が9.5%などとなっている。



※ 加重平均は、「そう思う」=2、「ややそう思う」=1、「どちらとも言えない」=0、「あまりそう思わない」=-1、「そう思わない」=-2の評点を与え、(評価ごとの回答者数) × (評点) の総和を、当該設問の回答者数で除して求めている。

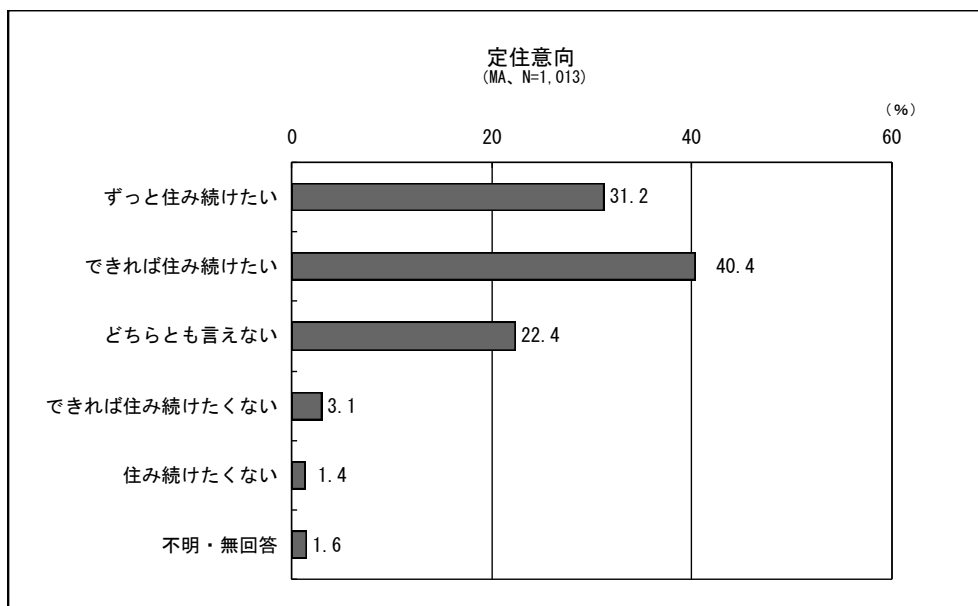
③ 草津市において自慢できること

「生活のしやすさや利便性」が 56.6%と最も多く、次いで「自然の豊かさや風景の美しさ」が 35.1%、「特に自慢できるものはない」が 21.2%などとなっている。



④ 今後の定住意向

「できれば住み続けたい」が 40.4%と最も多く、次いで「ずっと住み続けたい」が 31.2%、合わせて 71.6%となっている。

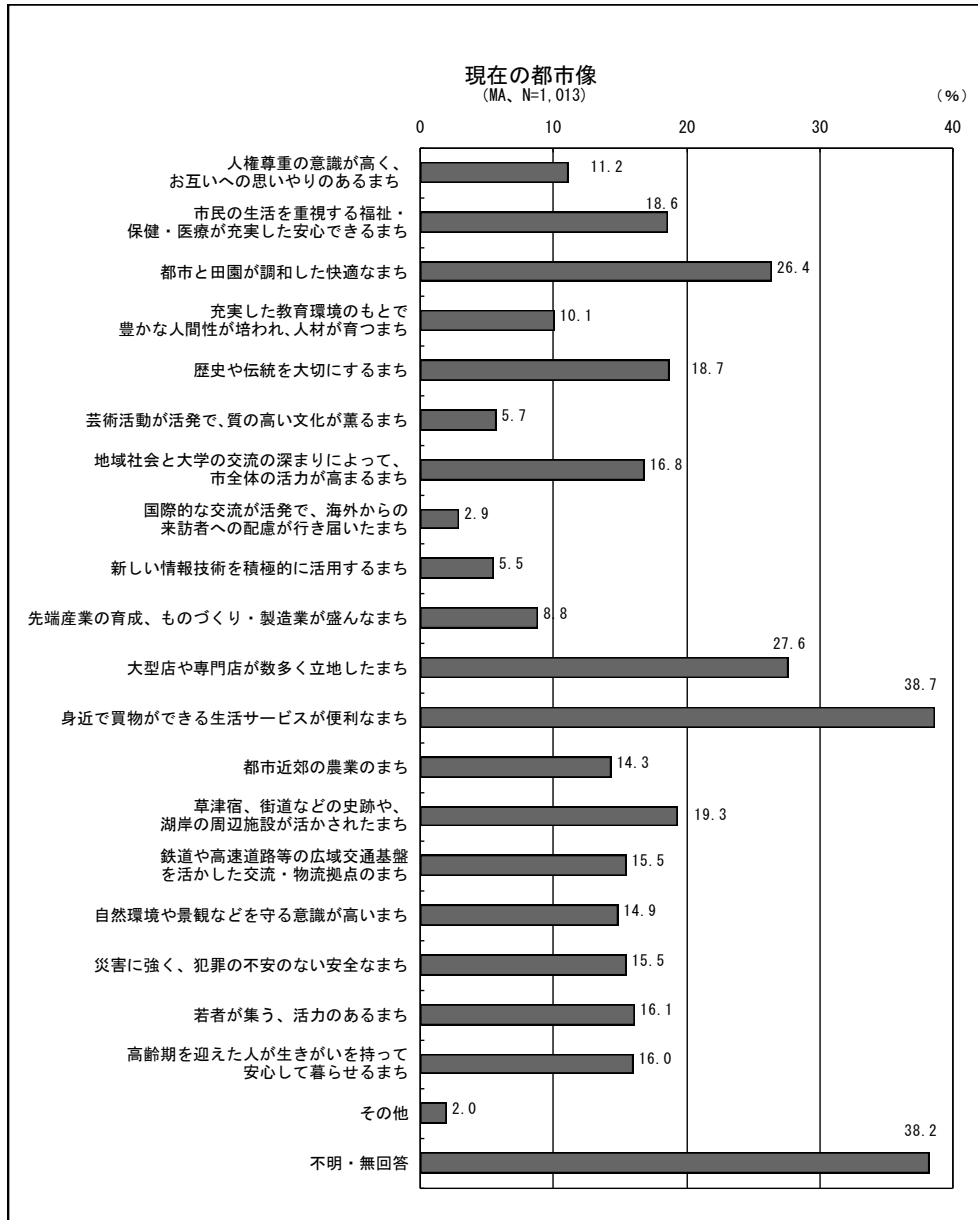


(3) 将来の都市像について

① 現在の都市像

「身近で買い物ができる生活サービスが便利なまち」が38.7%と最も多く、次いで「大型店や専門店が数多く立地したまち」が27.6%、「都市と田園が調和した快適なまち」が26.4%などとなっている。

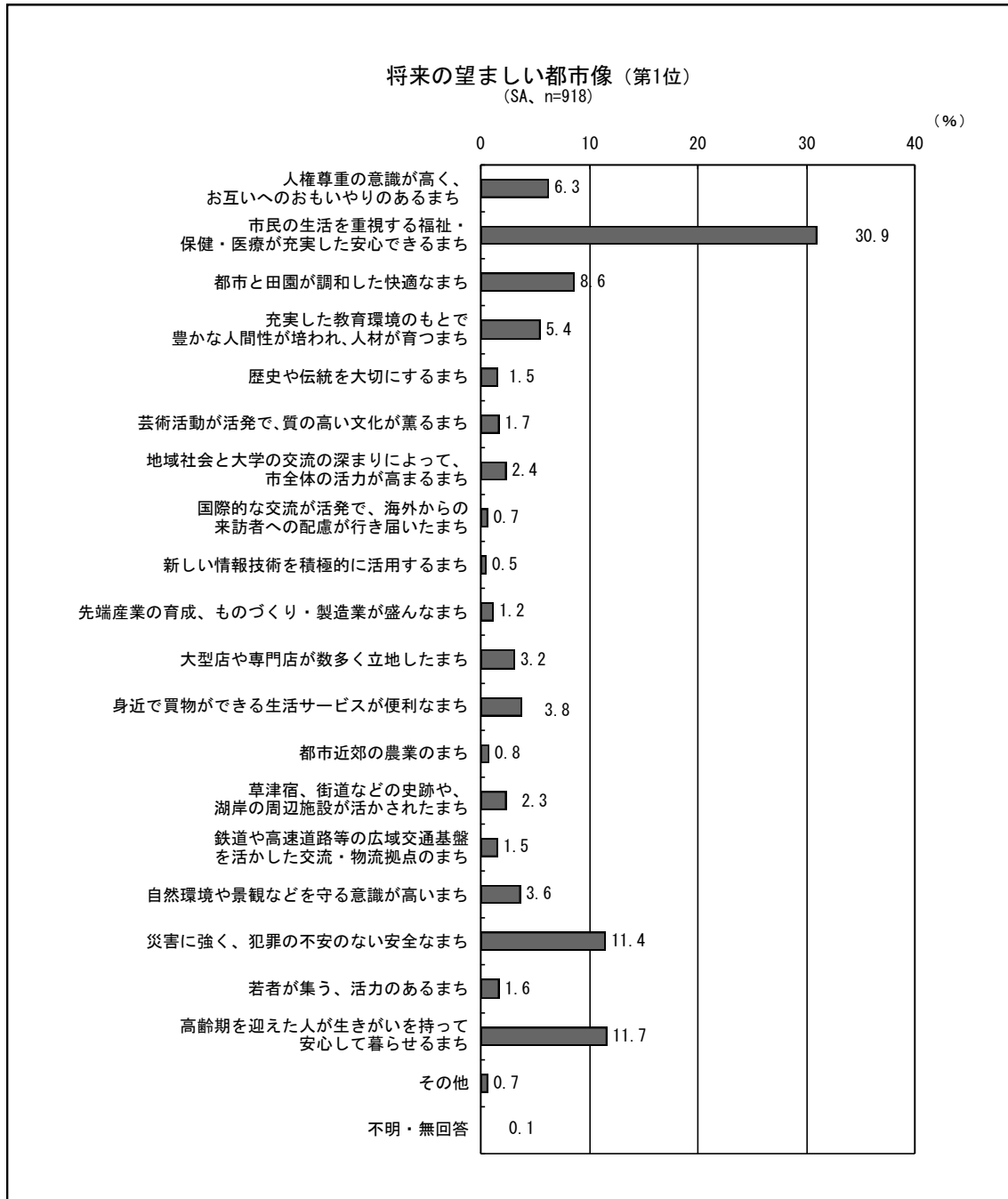
なお、不明・無回答が38.2%と多くなっているが、都市像の選択肢すべてが肯定的な表現であったことが理由として推察できる。



② 将来の望ましい都市像

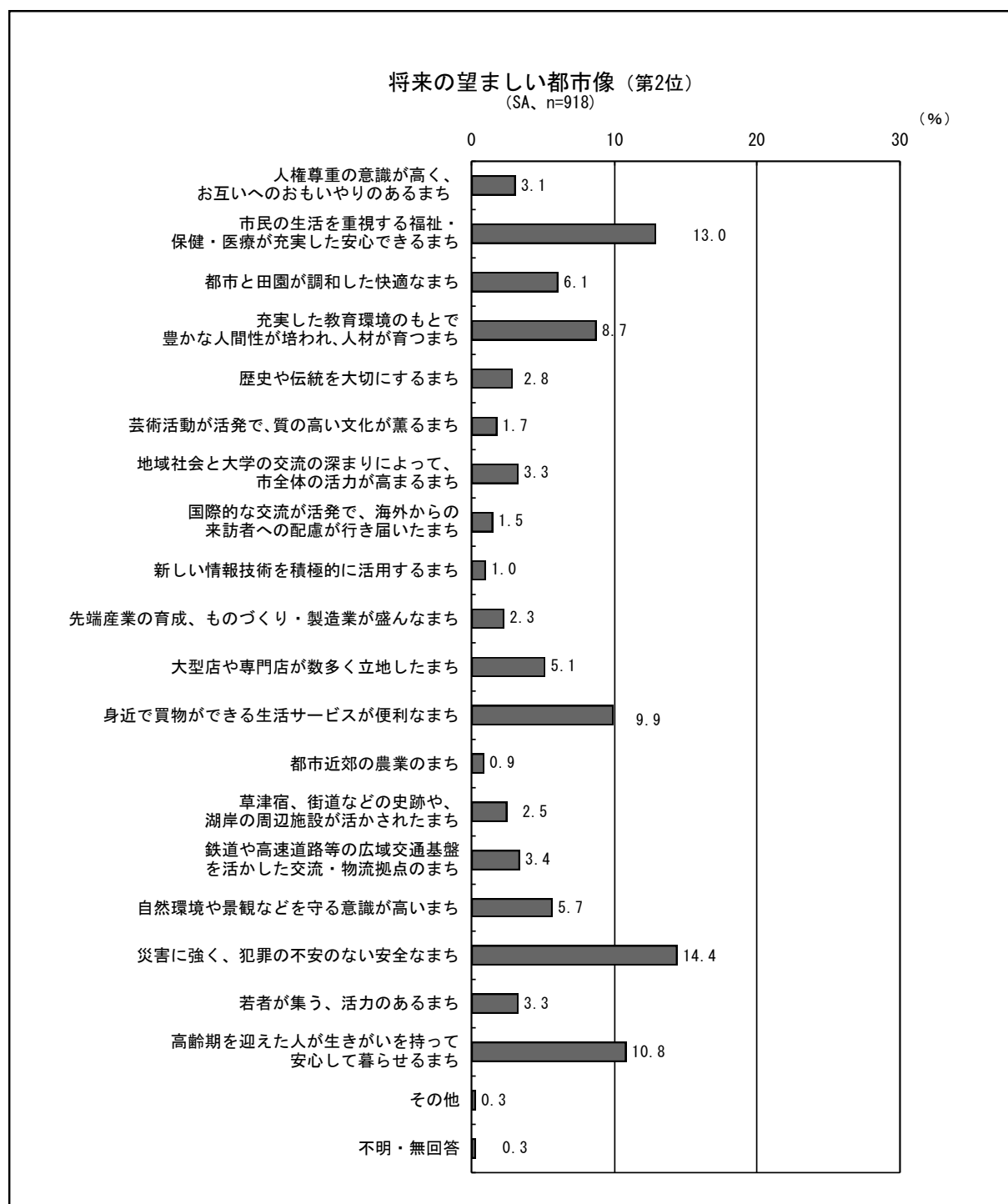
(第1位)

「市民の生活を重視する福祉・保健・医療が充実した安心できるまち」が30.9%と最も多く、次いで「高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち」が11.7%、「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」が11.4%などとなっている。



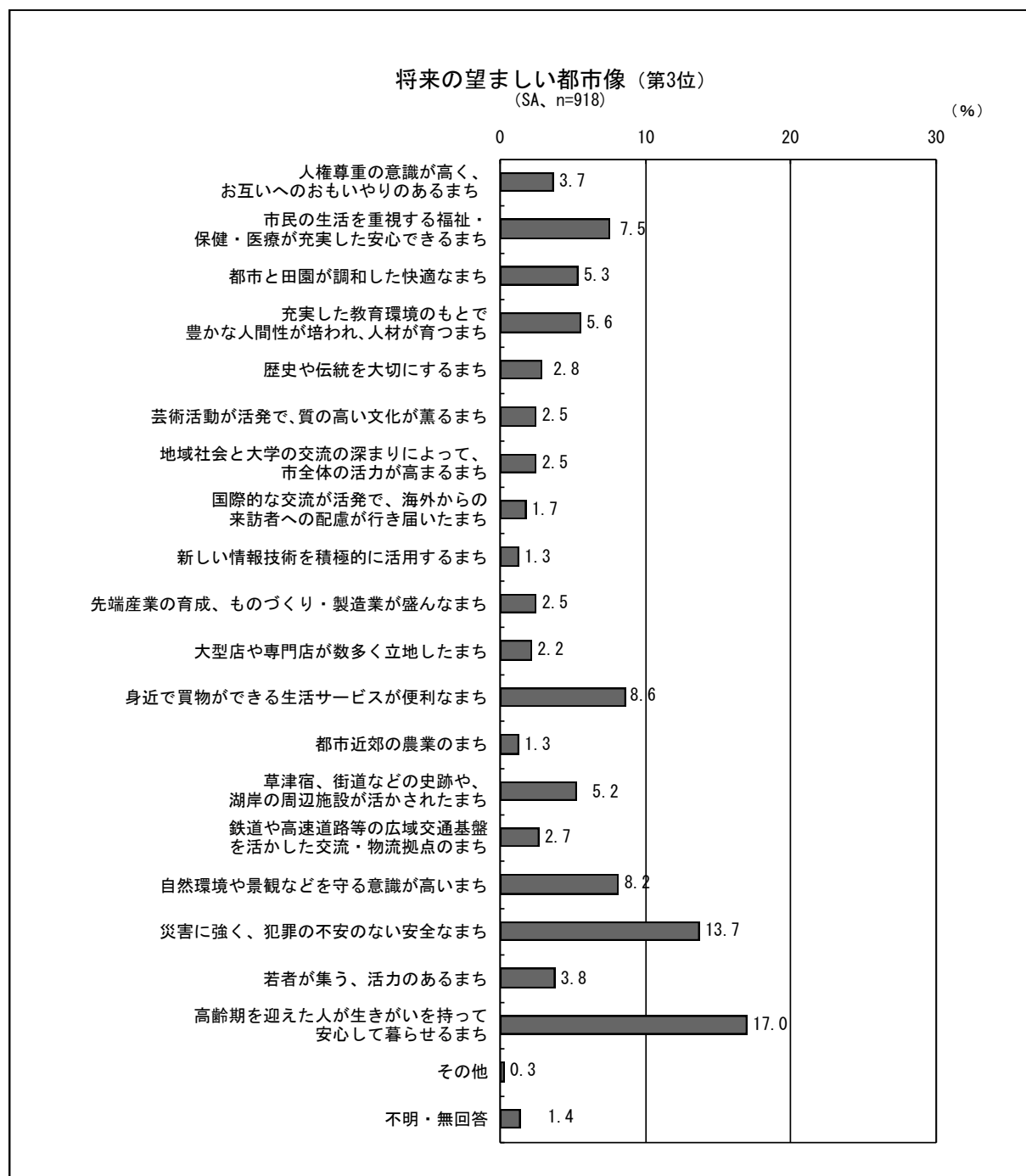
(第2位)

「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」が14.4%と最も多く、次いで「市民の生活を重視する福祉・保健・医療が充実した安心できるまち」が13.0%、「高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち」が10.8%などとなっている。



(第3位)

「高齢期を迎えた人が生きがいを持って安心して暮らせるまち」が17.0%と最も多く、次いで「災害に強く、犯罪の不安のない安全なまち」が13.7%、「身近で買い物ができる生活サービスが便利なまち」が8.6%などとなっている。



③ 将来の都市像を表すキーワード

自由記述として得られた回答 317 件、延べ 397 件について、その趣旨・イメージを大きく整理したところ、上位の項目を挙げると以下のようになった。

「安心・安全」に係るキーワードが最も多く 18.9%、次いで「人にやさしい」に係るキーワードが 12.0%、「住みよい」に係るキーワードが 11.4%、「自然」に係るキーワードが 11.0%などとなっている。

■都市像を表すキーワード（上位 10 位）

分類	延べ件数	延べ比率 (%)
安心・安全	60	18.9
人にやさしい	38	12.0
住みよい	36	11.4
自然	35	11.0
活気がある	26	8.2
発展	19	6.0
調和	16	5.0
ふれあい	13	4.1
環境	13	4.1
都市と自然	10	3.2

(4) 施策の取り組み方向の方向性

① 今後重点的に取り組むべき分野

草津市が今後重点的に取り組むべき施策の分野として、「そう思う」か「そう思わない」かを5段階で尋ねた。

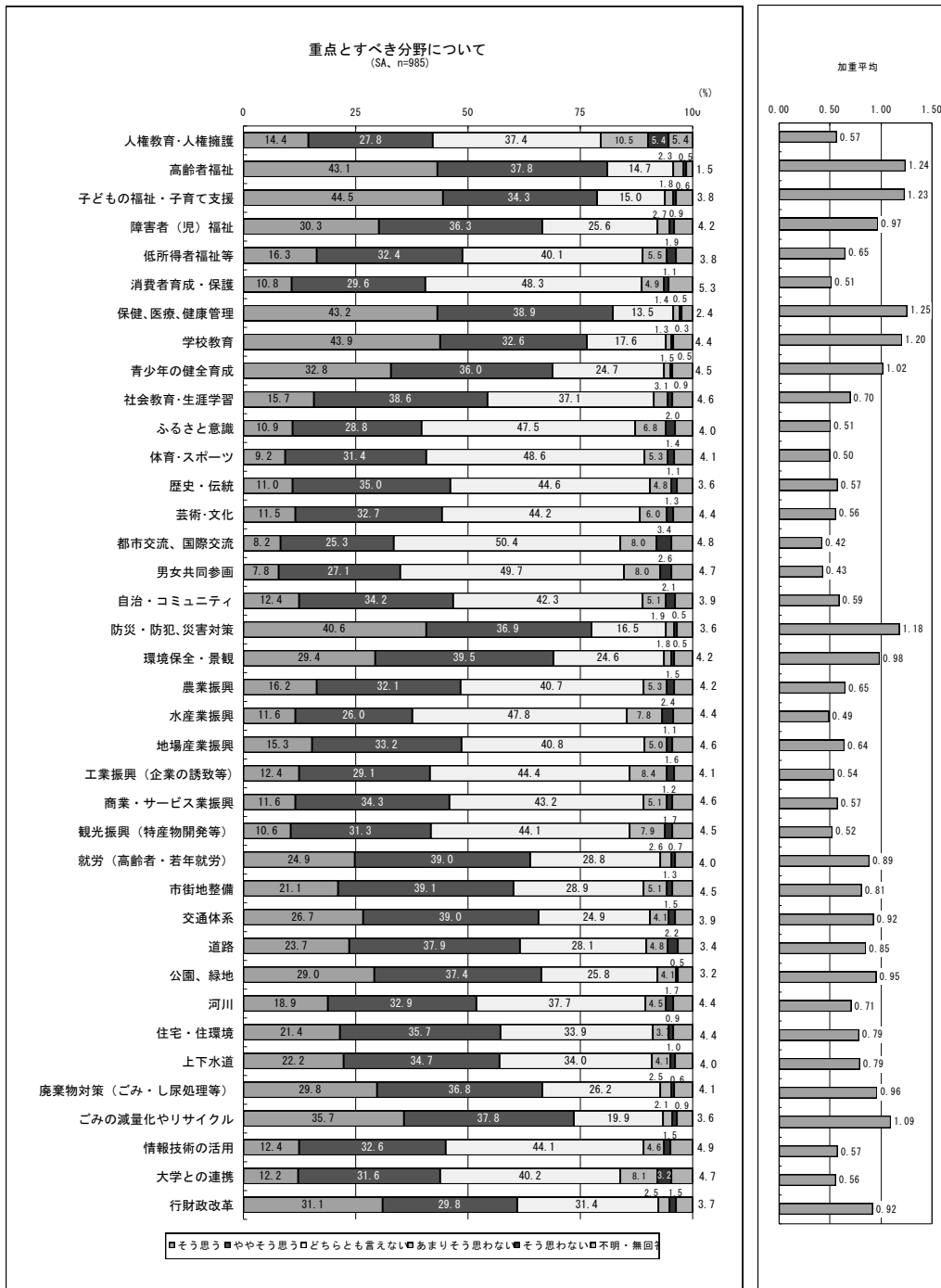
「そう思う」が最も多い分野は、「子どもの福祉・子育て支援」で44.5%、次いで「学校教育」が43.9%、「保健、医療、健康管理」が43.2%、「高齢者福祉」が43.1%、「防災・防犯、災害対策」が40.6%などとなっている。

「ややそう思う」が最も多い分野は、「環境保全・景観」で39.5%、次いで「市街地整備」が39.1%、「交通体系」が39.0%、「就労(高齢者・若年就労)」が39.0%、「保健、医療、健康管理」が38.9%などとなっている。

「どちらとも言えない」が最も多い分野は、「都市交流、国際交流」で50.4%、次いで「男女共同参画」が49.7%、「消費者育成・保護」が48.3%などとなっている。

「あまりそう思わない」が最も多い分野は、「人権教育・人権擁護」で10.5%、次いで「工業振興(企業の誘致等)」が8.4%、「大学との連携」が8.1%などとなっている。

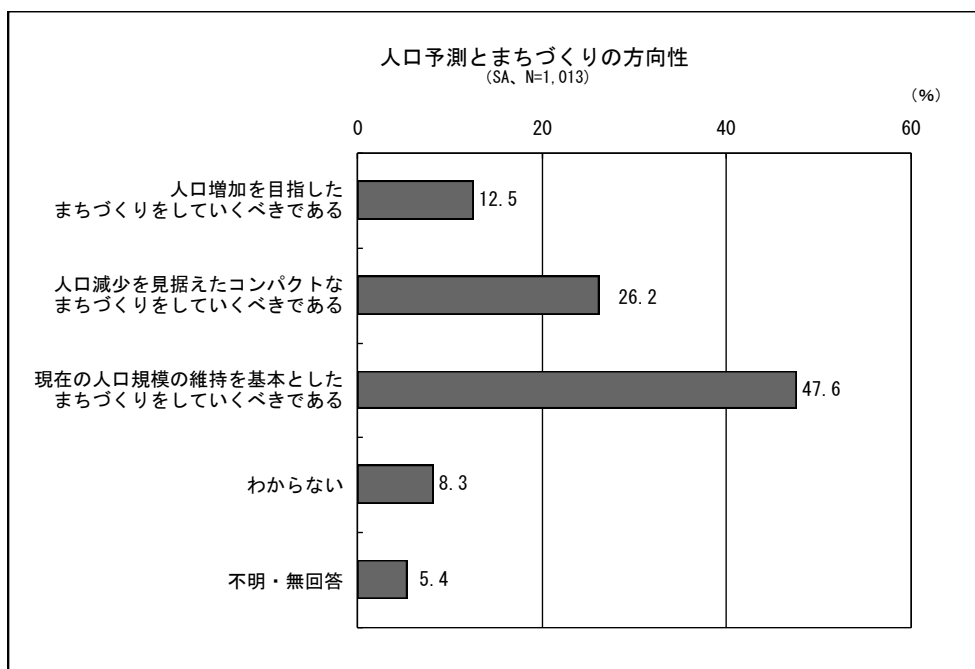
「そう思わない」が最も多い分野は、「人権教育・人権擁護」で5.4%、次いで「都市交流、国際交流」が3.4%、「大学との連携」が3.2%などとなっている。



※ 加重平均は、「そう思う」=2、「ややそう思う」=1、「どちらとも言えない」=0、「あまりそう思わない」=-1、「そう思わない」=-2の評点を与え、(評価ごとの回答者数) × (評点)の総和を、当該設問の回答者数で除して求めている。

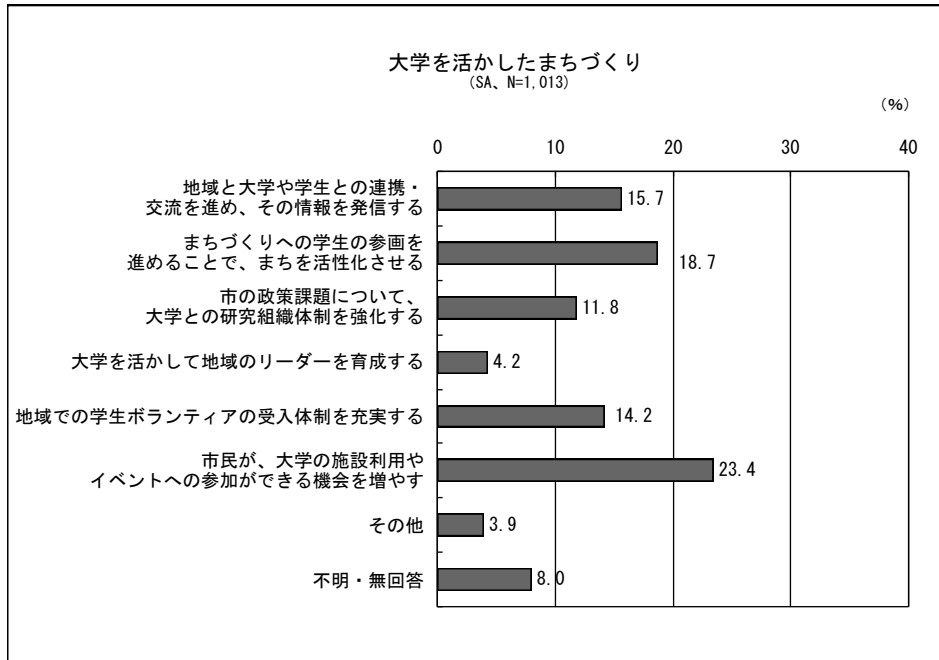
② 人口予測を踏まえたまちづくりの方向性

「現在の人口規模の維持を基本としたまちづくりをしていくべきである」が 47.6%と最も多く、次いで「人口減少を見据えたコンパクトなまちづくりをしていくべきである」が 26.2%などとなっている。



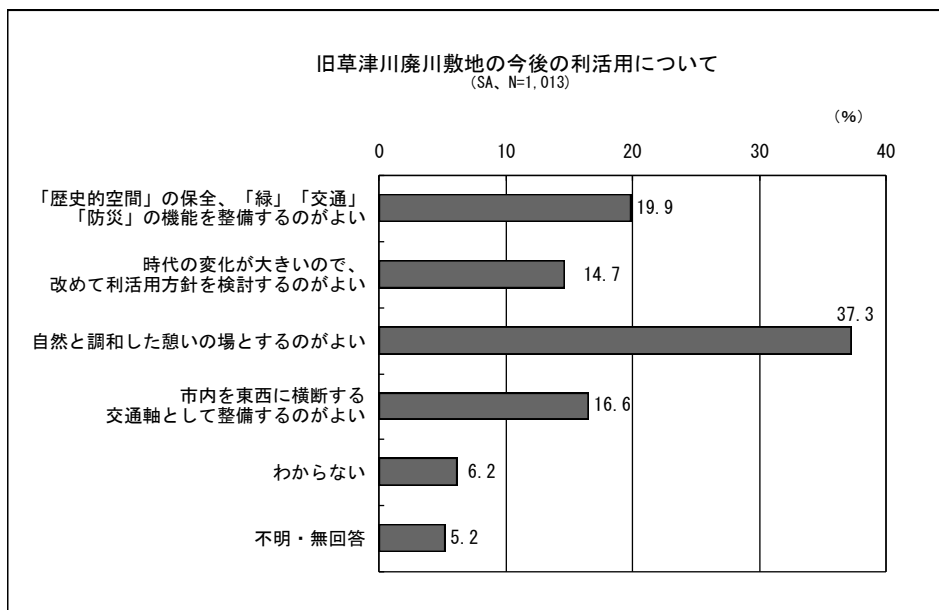
③ 大学を活かしたまちづくり

「市民が、大学の施設利用やイベントへの参加ができる機会を増やす」が 23.4%と最も多く、次いで「まちづくりへの学生の参画を進めることで、まちを活性化させる」が 18.7%、「地域と大学や学生との連携・交流を進め、その情報を発信する」が 15.7%などとなっている。



④ 旧草津川廃川敷地の今後の利活用

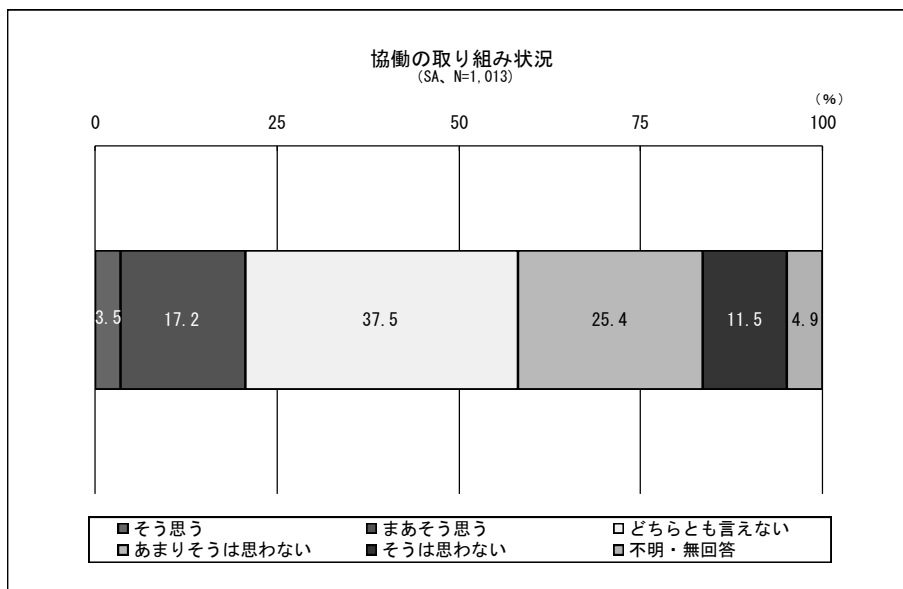
「自然と調和した憩いの場とするのがよい」が 37.3%と最も多く、次いで『歴史的空間』の保全、『緑』『交通』『防災』の機能を整備するのがよい」が 19.9%などとなっている。



(5) 協働のまちづくりについて

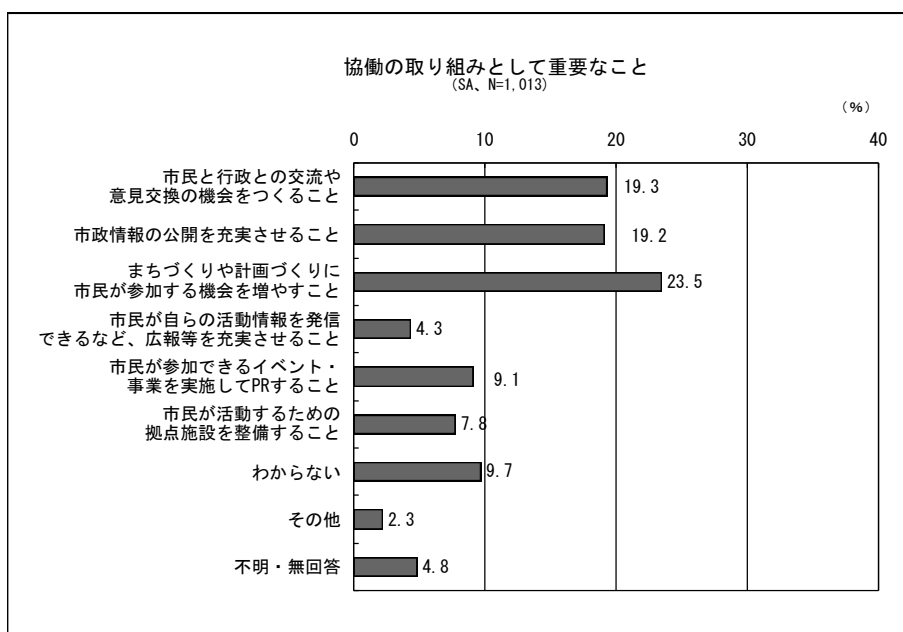
① 市民と行政による協働のまちづくりの取り組み状況

市民と行政が協働してまちづくりに取り組むことができているかどうかについて、「どちらとも言えない」が37.5%と最も多く、次いで「あまりそうは思わない」が25.4%などとなっている。



② 市民と行政による協働のまちづくりの取り組みとして重要なこと

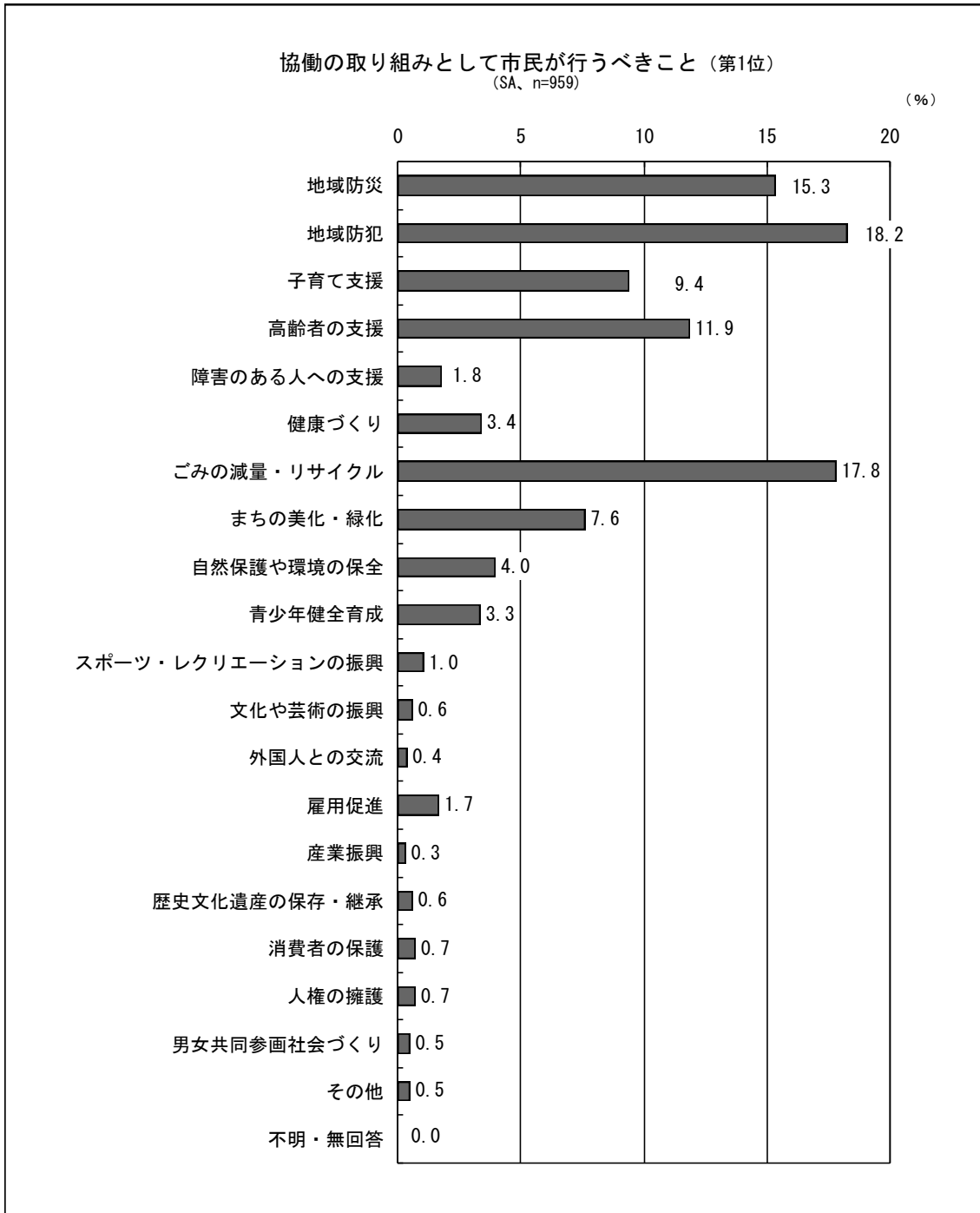
「まちづくりや計画づくりに市民が参加する機会を増やすこと」が23.5%と最も多く、次いで「市民と行政との交流や意見交換の機会をつくること」が19.3%、「市政情報の公開を充実させること」が19.2%などとなっている。



③ 協働のまちづくりにおいて市民が中心となっ行うべきこと・できること

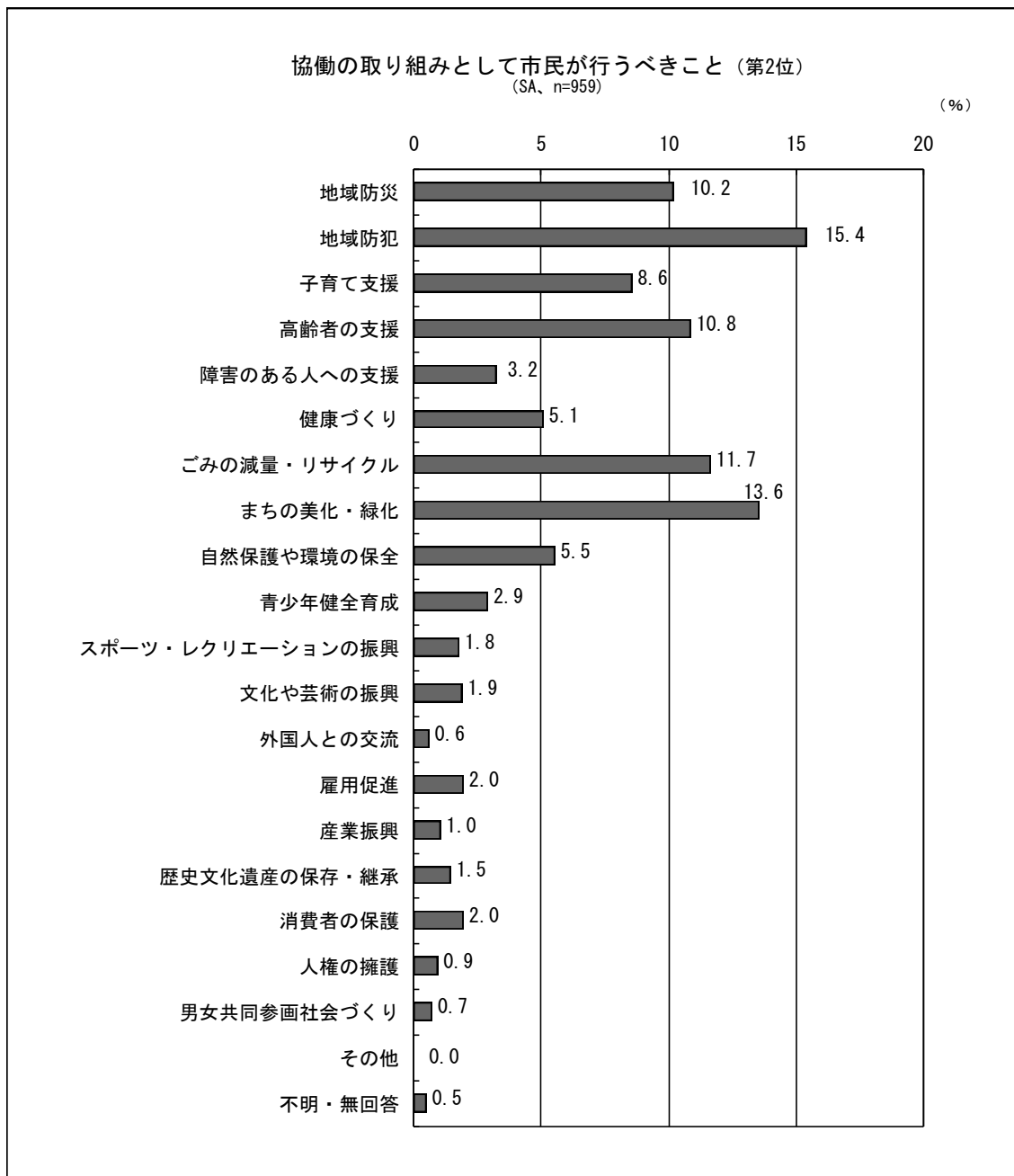
(第1位)

「地域防犯」が18.2%と最も多く、次いで「ごみの減量化・リサイクル」が17.8%、「地域防災」が15.3%などとなっている。



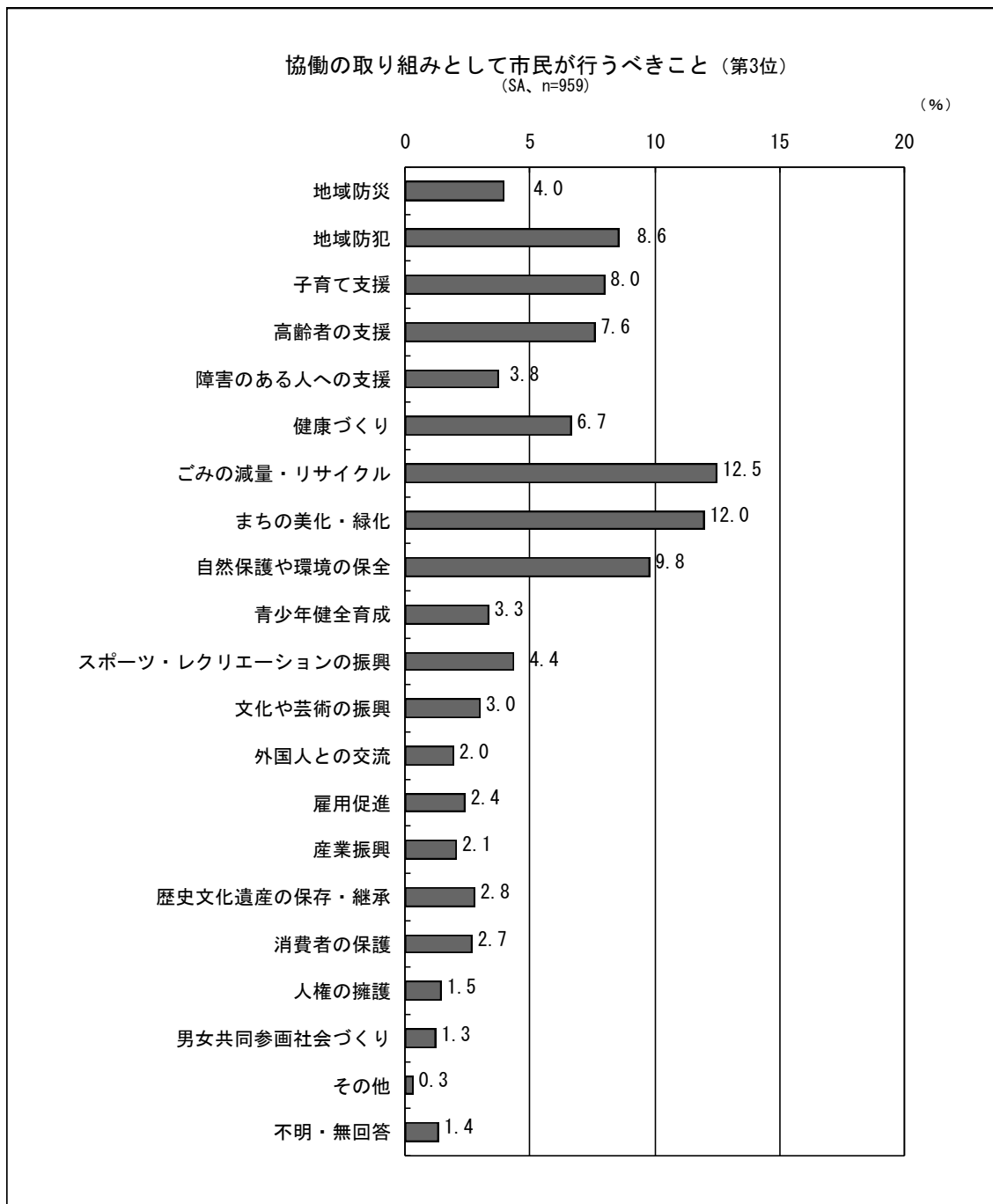
(第2位)

「地域防犯」が15.4%と最も多く、次いで「まちの美化・緑化」が13.6%、「ごみの減量化・リサイクル」が11.7%などとなっている。



(第3位)

「ごみの減量化・リサイクル」が12.5%と最も多く、次いで「まちの美化・緑化」が12.0%、「自然保護や環境の保全」が9.8%などとなっている。



(6) まちづくりや市政との関わりについて

① 地域活動について

(現在の参加状況)

「現在参加している」が最も多いのは、「自治会・町内会活動」で30.3%、次いで「スポーツ振興に関する活動」が6.3%、「環境に関する活動」「防災に関する活動」「地域の安全に関する活動」がそれぞれ5.5%などとなっている。

「参加したことがある」が最も多いのは、「自治会・町内会活動」で41.5%、次いで「防災に関する活動」が30.4%、「人権に関する活動」が28.4%、「スポーツ振興に関する活動」が26.1%などとなっている。

「現在参加している」と「参加したことがある」の合計から、参加の状況を見ると、「自治会・町内会活動」が71.8%と最も多く、次いで「防災に関する活動」が35.9%、「人権に関する活動」が33.3%、「スポーツ振興に関する活動」が32.4%などとなっている。

「知っているが参加したことはない」が最も多いのは、「生涯学習(学校と家庭を除いた教育)に関する活動」で37.8%、次いで「文化・芸術に関する活動」が34.9%、「スポーツ振興に関する活動」が33.8%などとなっている。

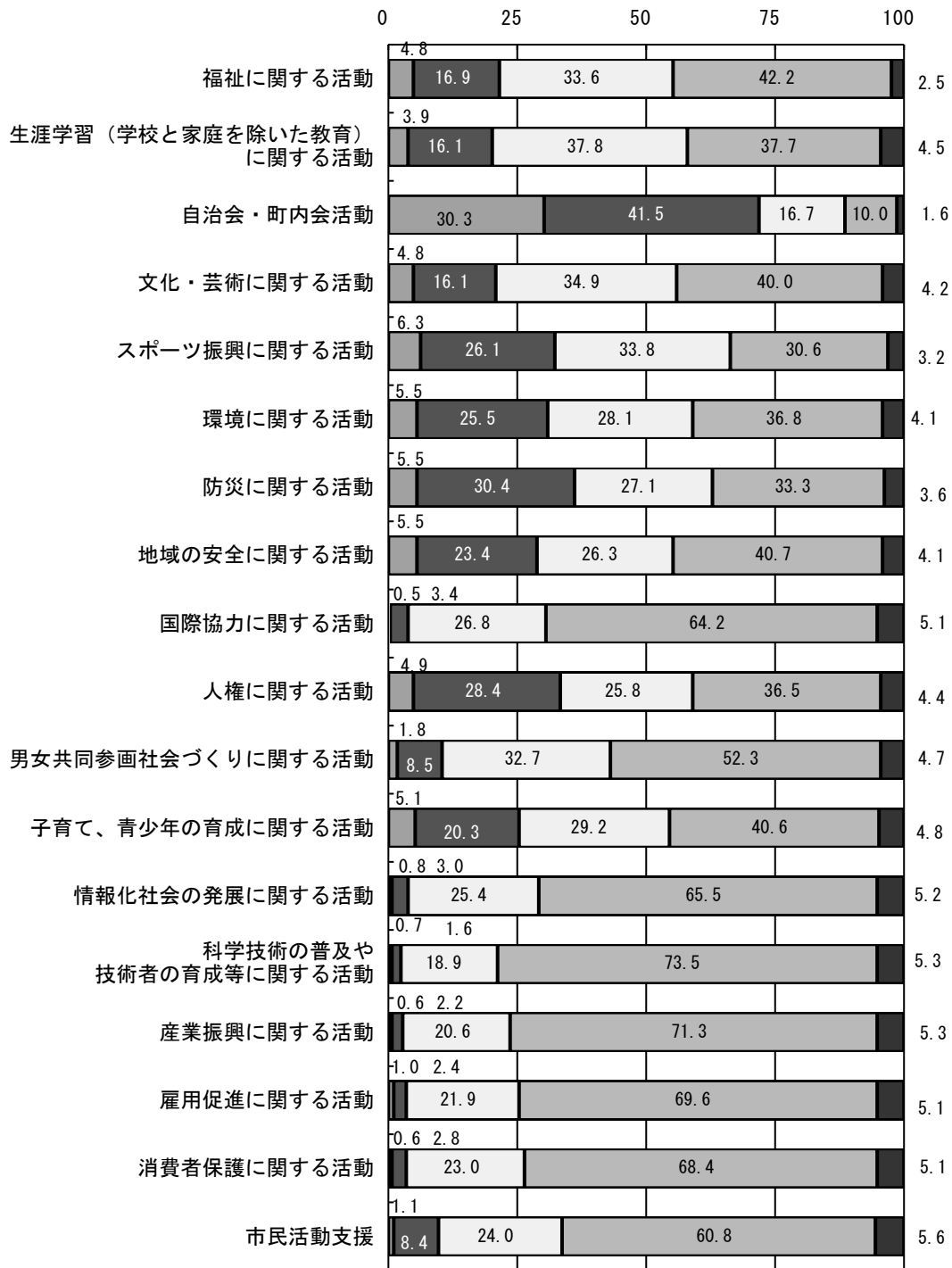
「知らないので参加したことはない」が最も多いのは、「科学技術の普及や技術者の育成等に関する活動」で73.5%、次いで「産業振興に関する活動」が71.3%、「雇用促進に関する活動」が69.6%などとなっている。

「知っているが参加したことはない」と「知らないので参加したことはない」の合計から、不参加の状況を見ると、「科学技術の普及や技術者の育成等に関する活動」が最も多く92.4%、次いで「産業振興に関する活動」が91.9%、「雇用促進に関する活動」が91.5%などとなっている。

現在参加している地域活動

(SA、n=960)

(%)



現在参加している
 知っているが参加したことはない
 不明・無回答
 参加したことがある
 知らないので参加した事はない

（地域活動への今後の参加意向）

「今後参加したい」が最も多いのは、「自治会・町内会活動」で 53.8%、次いで「防災に関する活動」が 43.4%、「環境に関する活動」「地域の安全に関する活動」がそれぞれ 42.1%などとなっている。

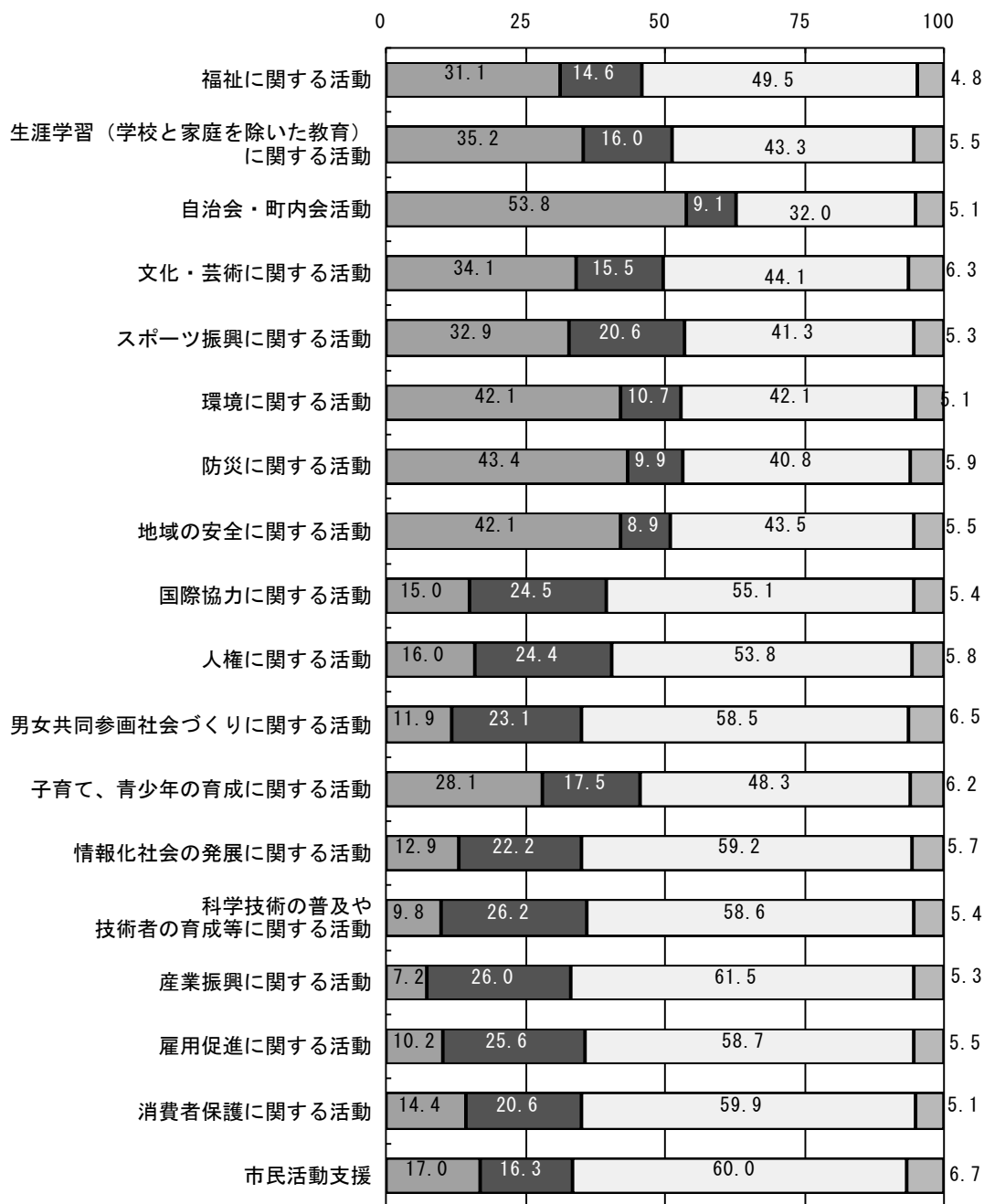
「参加しない」が最も多いのは、「科学技術の普及や技術者の育成等に関する活動」で 26.2%、次いで「産業振興に関する活動」が 26.0%、「雇用促進に関する活動」が 25.6%、「国際協力に関する活動」が 24.5%などとなっている。

「わからない」が最も多いのは、「産業振興に関する活動」で 61.5%、次いで「市民活動支援」が 60.0%、「消費者保護に関する活動」が 59.9%などとなっている。

地域活動への今後の参加意向

(SA、n=943)

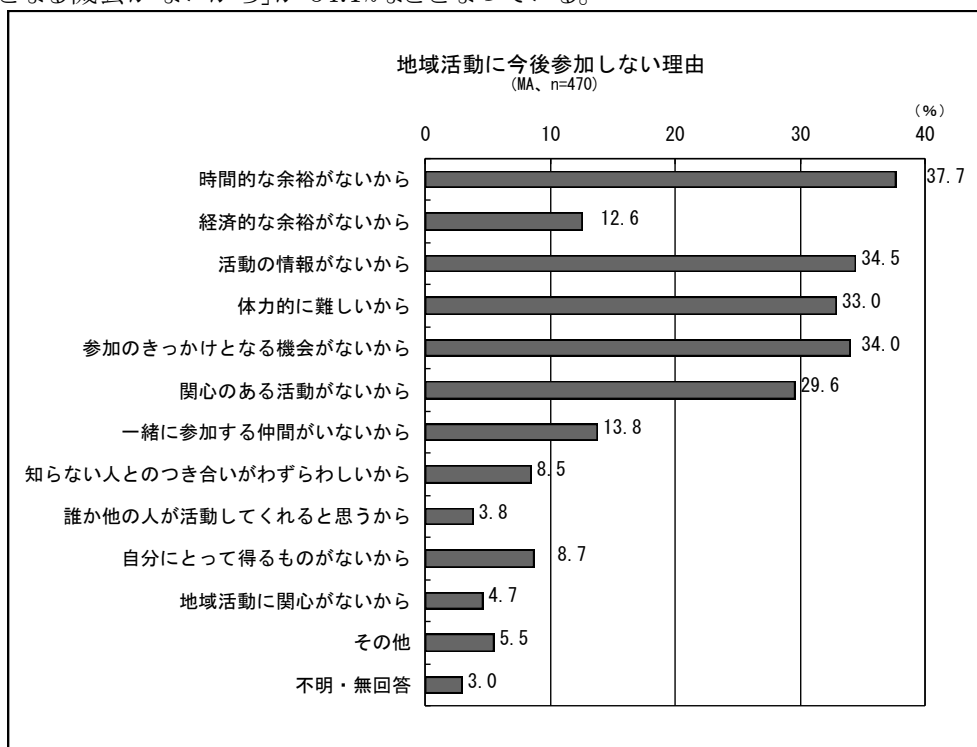
(%)



■ 今後参加したい ■ 参加しない □ わからない □ 不明・無回答

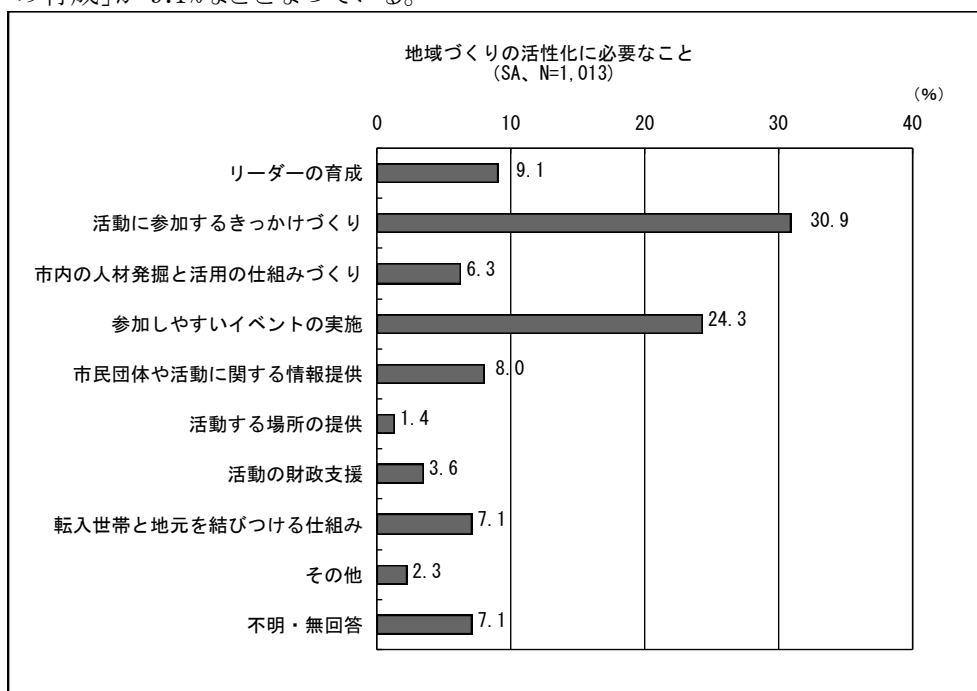
(地域活動へ今後参加しない理由)

「時間的な余裕がないから」が最も多く 37.7%、次いで「活動の情報がないから」が 34.5%、「参加のきっかけとなる機会がないから」が 34.1%などとなっている。



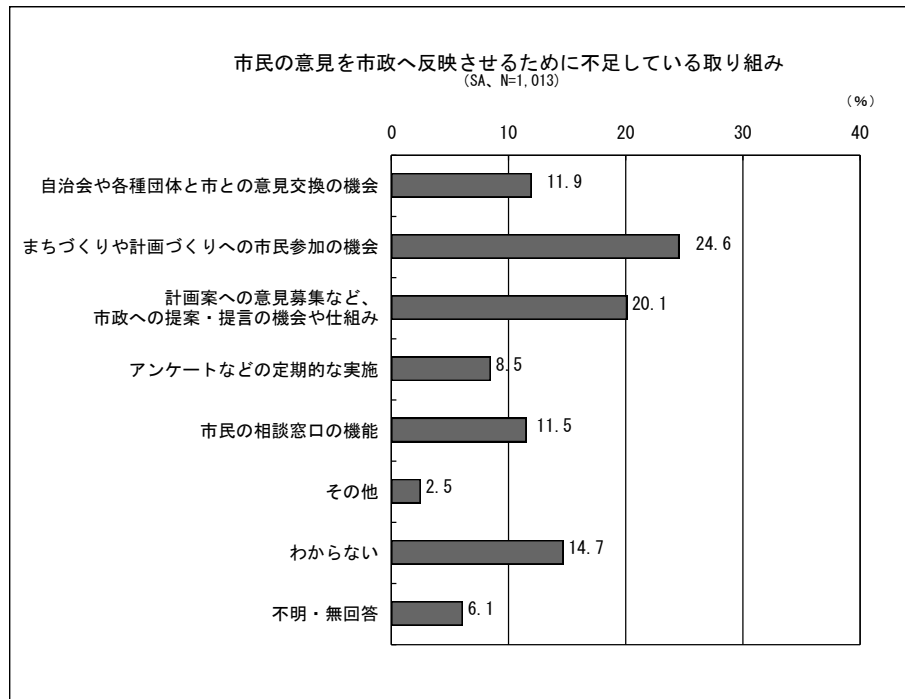
② 地域づくりの活性化に必要なこと

「活動に参加するきっかけづくり」が最も多く 30.9%、次いで「参加しやすいイベントの実施」が 24.3%、「リーダーの育成」が 9.1%などとなっている。



③ 市民の意見を市政へ反映するために不足している取り組み

「まちづくりや計画づくりへの市民参加の機会」が最も多く 24.6%、次いで「計画案への意見募集など、市政への提案・提言の機会や仕組み」が 20.1%などとなっている。



(7) 今後の草津市のまちづくりについて

自由記述として得られた回答 379 件の内容について、以下の類型により整理した。数値は延べ件数である(以降、同じ)

① 「不足」または「あれば便利な」施設

公園・スポーツ施設	122
【公園】	59
(主な理由)	
・駅前などアクセスの良い場所に広々とした、自然豊かな公園が少ない。	
・子どもから高齢者まで「憩いの場」となるような公園が少ない。	
【温水プール】	17
(主な理由)	
・市内には、民間のスポーツジムの温水プールしかないため。市民の健康づくりのために必要。	
【複合的なスポーツ施設】	17
(主な理由)	
・気軽に運動ができ、安価に使用できる場(トレーニングルームなど)が少ないから。	
・体力向上、健康維持のため必要。	
【プール】	6
(主な理由)	
・施設数が少なく、立地条件が悪い。	
【テニスコート】	4
(主な理由)	
・他に比べると少ない。	
【体育館】	4
(主な理由)	
・施設数が少ないため、なかなか利用できない。また立地条件もあまりよくない。	
【サッカー場】	4
(主な理由)	
・草津市にないため。	
【野球場】	3
(主な理由)	
・草津市にないため。	
【グランドゴルフ場】	3
(主な理由)	
・野洲・守山などの他都市にはあるが、草津市内にはないため。	
【その他】	5
・陸上競技場、ソフトボール場 等	

子育て関連施設	70
【子育て支援センター】 (主な理由) ・天候を気にせず子どもが遊べる場所が少ない。	24
【児童館】 (主な理由) ・大津市、栗東市など他都市と比較して児童館の数が少ない。 ・屋内で子どもが遊べる場所が少ない。 ・育児や子育て相談ができる場所や機会が少ない。	23
【保育所(保育園)】 (主な理由) ・子どもの数に対して保育所(保育園)の数が少ない。	18
【学童保育・放課後児童クラブ】 (主な理由) ・学区により不足している。	5
医療機関	61
【公立の病院】 (主な理由) ・大津市や近隣の市町村にはあるが、草津市にはないため。	40
【総合病院】 (主な理由) ・市内には、入院施設を持つ総合病院が少ない。	9
【高齢者を対象とする医療機関】 (主な理由) ・高齢化を迎えるにあたって必要。	3
【小児科】 (主な理由) ・不足しているため。	2
【その他】 ・救急救命医療センター、夜間診療の病院 等	7

その他の福祉施設	36
【高齢者向けの福祉・介護施設】 _____ 31 (主な理由) ・グループホーム、ショートステイ、入所施設等が相対的に不足している。	
【障害のある人のための施設】 _____ 5 (主な理由) ・立地条件が悪く、サービス内容が十分ではないため。	
文化施設	27
【ホール】 _____ 9 (主な理由) ・既存の施設は立地が悪く、また、設備が充実していない。コンサートや興行的な催しを呼べる大型の充実したものが市内にはないから。	
【映画館】 _____ 10 (主な理由) ・草津市内には、車でないと行けない所にしかないから。	
【その他】 _____ 8 ・美術館、市立展覧会場、公会堂 等	
公共機関等	20
【図書館】 _____ 8 (主な理由) ・蔵書を充実させる。 ・南草津駅の分室のように、利便性のよいところに設置する。	
【市役所・保健センターの支所・分室】 _____ 4 (主な理由) ・今の立地は不便なため、利便性のよいところに欲しい。	
【その他】 _____ 8 ・消防署 等	

道路・交通	18
【道路】 _____ 7 (主な理由) ・市内の一部の道路が狭い	
【駐輪場】 _____ 5 (主な理由) ・駅前など駐輪場の整備が必要。不法駐輪が多い。	
【その他】 _____ 6 ・自転車専用道路、市民駐車場、観光駐車場 等	
その他	82
【市民が多目的に自由に使える場所(部屋)】 _____ 20 (主な理由) ・既存の施設は、利用が偏っており、利用率が高い施設と低い施設がある。 ・「フェリエ」「市民センター」「福複センター」などでは部屋が足りていない。 ・少人数サークルや一般市民が気軽に利用できる施設がない。	
【商業施設】 _____ 18 (主な理由) ・商業施設が偏在している。 ・デパートや専門店が少ない。	
【レジャー施設】 _____ 15 (主な理由) ・草津市にはレクリエーション施設が少ないため。大阪や京都へ人が流れている。	
【幼稚園】 _____ 6 (主な理由) ・子どもの数に対して、幼稚園が少ないため。	
【その他】 _____ 23 ・職業訓練施設、市営墓地、大学、防災研修施設 等	

② 見直しが必要な既存施設・事業

自由記述として得られた回答 223 件の内容について、以下の類型により整理した。

■見直しが必要な既存施設

公園・スポーツ施設	24
【公園】	16
(主な理由)	
・公園の整備が十分でない所、ボランティアの活用等整備のあり方を考える必要がある。	
・公園の PR が十分ではない。集客方法などを考えるべき。	
【スポーツ施設】	8
(主な理由)	
・利用者のニーズにあった施設設備ができていない。	
医療機関	3
(主な理由)	
・総合病院の立地、交通アクセスなどの利便性を考慮すべき。	
福祉施設	11
(主な理由)	
・高齢化社会を迎えるにあたって、福祉施設が不足している。また、既存のものは、利便性があまりよくない。	
文化施設	11
(主な理由)	
・交通のアクセスが悪く、大きさ、施設整備など中途半端で有効に活用されていない。	
・利用者が少ない。	

公共機関等	21
【図書館】	12
（主な理由）	
・蔵書が少ない、開館時間が遅い。	
・立地が悪い。図書館全体が老朽化し、暗い。	
【市役所】	5
（主な理由）	
・設備が大きすぎるのではないか。	
【その他】	4
・さわやか保健センター、シルバー人材センター 等	
道路・交通	30
【草津駅前の整備】	11
（主な理由）	
・駅前の道路が狭い。魅力的な駅前となっていない。	
【草津駅周辺の駐車場】	9
（主な理由）	
・既存のものが十分に活用されていない一方で、西口には十分なスペースが無い。	
【道路整備】	6
（主な理由）	
・交通量と道路の幅があっていない。	
【その他】	4
・市役所立体駐車場 等	
その他	66
【公民館・まちづくりセンターなど】	15
（主な理由）	
・サービス内容や今後のあり方について検討するべき。特定の団体の利用になっており、場所すら知らない人もいる。	
【商業施設】	13
（主な理由）	
・駅前の立地条件を活かしきれていない商業施設がある。	
・商店街の活性化。	
【小学校・中学校】	6
（主な理由）	
・基礎学力の向上につとめるべき。	
・学校設備の有効活用。	
【幼稚園】	5

(主な理由)

- ・サービス内容の充実が必要。また、娯楽施設などは景観に配慮すべき。

【レジャー施設】_____ 5

(主な理由)

- ・魅力的なものがない。

【その他】_____ 22

- ・人権センター、隣保館、同和施設、草津クリーンセンター 等

■見直しが必要な事業

行政サービス	32
--------	----

【市役所の開所時間】_____ 5

(主な理由)

- ・土日の開所を検討してほしい。

【その他】_____ 27

- ・各種団体への補助金、協働のまちづくり事業 等

交通	32
----	----

【市内の公共交通サービスの充実】_____ 21

(主な理由)

- ・路線バスの充実。

【南草津駅への新快速停車】_____ 7

(主な理由)

- ・利便性を高めるため

【その他】_____ 4

- ・交通標識 等

公共工事	19
------	----

【河川工事】_____ 9

(主な理由)

- ・必要性が見いだせない。

【駅前整備】_____ 5

(主な理由)

- ・雑然としている。コンセプトを持った魅力的な開発をするべき。

【その他】_____ 5

- ・道路整備 等

ごみ	17
【ごみ袋】_____	12
（主な理由）	
・ごみ袋の配布方法の検討	
【ごみの収集方法】_____	5
環境	14
【風力発電】_____	6
（主な理由）	
・必要なのか。	
【その他】_____	8
・まちなかの緑 等	
その他	36
【観光】_____	8
・宿場まつり(マンネリ)と案内表示 等	
【人権】_____	5
・人権教育 等	
【教育】_____	4
・学校区 等	
【その他】_____	19
・街路灯(暗い)、救急医療体制、立ちタバコ禁止活動 等	

③ 協働のまちづくりについてのアイデア・意見

自由記述として得られた回答 288 件の内容について、以下の類型により整理した。

協働のまちづくりについて	78
【市民参加】	34
・市民が参加できる組織体制や人材育成、参加意欲を高めるインセンティブなどの 仕組みづくりが必要	21
・現在の活動組織や内容の見直しが必要	4
・学生や企業人の参加を促す	4
・その他	5
【市民と行政の意見交換の方法】	26
・行政が市民の意見を聞く回数や、実施方法の改善等を行い、機会を増やし、 気軽に意見交換ができるようにする。	19
・その他	7
【市民が参加するイベントについて】	12
・大規模なイベントだけでなく、地域の活動、サークル活動ごとにイベントを増やすべき	12
【その他】	6
・協働の言葉だけでなく行動が必要、市民の声を聞いても実行までに時間がかかり過ぎ 等	
その他	184
【開発・整備に関すること】	28
・道路整備に関して	9
・旧草津川の有効活用	5
・その他	11
【市政等の情報提供に関すること】	15
・分かりやすい情報提供の充実	15
【環境に関する取り組み】	20
・ポイ捨ての禁止や街路樹の整備等の環境美化に関すること	9
・その他	11
【学校・教育に関すること】	13
・小学校・中学校の義務教育の充実	6
・その他	7
【財政に関すること】	13
・無駄な支出を見直し、財政の健全化	9
・その他	4
【生活の安全に関すること】	11
【子どもに関すること】	8
【福祉に関すること】	8
【その他】	60
・行政への要望	30
・アンケートに関すること	14
・その他	16